2020年10月8日発行・発売（毎月8日発行・発売）第37巻第11号 通巻439号 ISSN 0289-7245

#写真家と花

睡蓮の花と祈るひと。
スリランカの仏歯寺を訪れたときに撮影しました。
静かな空間のなかで美しく感じたときでした。

福井裕子 Yuko Fukui　岡山県出身。写真を撮りながら、ひとの暮らしや風景、自然の現象などから生まれる美しいときや愛おしいものを探している。http://yukofukui.com

シンプルだけどセンスが光る お洒落なクリスマス

ビッグテールリード・白

カラフトモミ

新加工でほのかな香りと
自然な色合い
枝ぶりを実現しました

ブルーアイス

細かい葉が立体的になり
アレンジに表情が出せます

ミニ山イモ・ゴールド

ローズ・てまり(ナチュレ)

シャビーピンク

クラウドピンク

フローリスト 11

Florist November 2020

【編集・広告】TEL:03-5800-3616／FAX:03-5800-5725【販売】TEL:03-5800-5780／FAX:03-5800-5781　https://www.seibundo-shinkosha.net/

Print／大日本印刷株式会社

La Promenade Fleurie

はなさくブーケの散歩道

神楽坂の人気店「ジャルダンノスタルジック」。
フローリストの青江さん・加藤さんと、
ちょっとブーケの中をお散歩してみませんか？
花のことや店のこと、お菓子にまつわる
おしゃべりにも花が咲きます！

Conversation 19

凛と、清く、キク模様

（♣ 青江健一 ♦ 加藤孝直 ♥ 編集部）

♥ キクのモジャモジャがかわいいですね。

♦ そう、あれかわいいんですよね〜。
あれがすごくきれいで入れたいなって思って。

♥ ではこの花束はキクから考えられた感じですか？

♦ 絶対入れたいと思ったのが、キクと
メラレウカ（キクの下にある黄色の細い葉もの）。
これがすっごい好きで。

♥ そうなんですね！

♦ メラレウカは黄色ですっごい明るいけど
アンティークなものとも合って、
この時季絶対買っちゃうんですよね。
紅葉とのコントラストもすごくきれいだし。

♣ あ、おはよー。どうもどうも〜。
（隣でお話を聞かれていた青江さんは
店を通りがかった常連さんを見つけてここで離脱）

♦ このキク'アーセナルレッド'の産地が好きすぎて……。
岐阜県にある「飛騨 classic mum」というところなんですけど、
色がアンティークな感じで
同じ品種でも（この産地のは）ちょっとくすんだ色合いで、
すっごいきれいで毎年出るのを楽しみにしてるんです。

♥ じゃあこの花が市場に出てきたら……。

♦ あぁ来た！みたいな。秋口ぐらいから楽しみにしてて。

♥ それは買わなきゃですね！
しかし、どうしてこんなにきれいな色になるんでしょうね。

♦ ね〜。この産地さんに一回行ってみたいな。

蘇芳菊の色目でまとめた秋の花束

キク（アーセナルレッド、ほか1種）、ノギク、バラ（プリエール、カネラ）、ジニア'クイーンライムオレンジ'、ダイヤモンドリリー、スカビオサ'クラシックピンク'、クレマチス'ダッチェスオブエジンバラ'、ドライアンドラ、ケノポディウム'バニラ'、メラレウカほか

今回の制作者

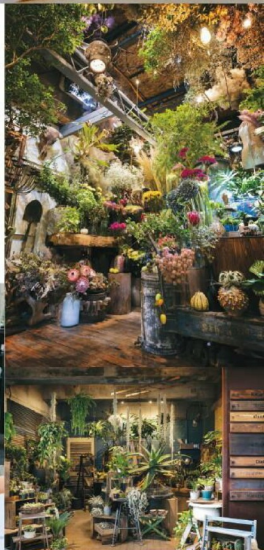
加藤孝直

jardin nostalgique
ジャルダン ノスタルジック

フローリスト青江健一、フローリスト兼パティシエの加藤孝直の2人が立ち上げた、神楽坂の花店。店名はフランス語で「懐かしい庭」。店は、どこか郷愁を誘うような、優しい雰囲気が漂い、手作りの焼き菓子や雑貨も販売する。
東京都新宿区天神町66-2 1F TEL&FAX:03-6280-7665 http://www.jarnos.jp/

撮影／野村正治

花屋さんのための
ショップデザインアイデア
flower shop design ideas

花屋さんが開業、移転、リニューアルするにあたり、一番ワクワクするのが予算に頭を痛めつつ自分好みの内装、インテリアなどショップデザインを考えるとき。今回は人気花店の細部に目を向けて、オーナーがこだわった部分を紹介します。理想のショップデザインを形にするのに欠かせないのは、デザイナー。花屋さんと二人三脚でショップをデザインしたデザイナーにも話を聞き、花屋さん、デザイナー両方の目線からすてきなショップデザインの秘密に迫ります。独立を目指す人も、開業から数年経ってリニューアルを考えている人も必見です。

探訪!
花屋さんの
ショップデザイン

元の姿を生かしてリノベーション、自分好みにゼロから作り上げたなど、
個性豊かな花屋さんのショップの秘密を探ります。

入り口のドアを開けると、まず目に飛び込んでくる風景。壁のスカイブルーは花が映えるようにと選んだ。2019年にカフェスペースが独立するまではここにカフェテーブルとイスが並んでいた。生花ベースを置いている台は、ホームセンターで売っている工業用のコンクリートを活用。店の雰囲気に合っているうえ、お手頃価格で重さもあり安定感も抜群で重宝している。

余白を感じる店づくり

shop data

cotito	コチト

東京都杉並区西荻北5-26-18
TEL:03-6753-2395
営業時間:平日11:00〜18:00(カフェL.O.17:30)
土・日曜日、祝日〜19:00(カフェL.O.18:00)
定休日:不定休 ※SNSで確認を。
cotito ハナトオカシト
@_cotito___
mail:info@cotito.jp
http://cotito.jp

入り口を入ってすぐの壁とカウンターはディスプレー兼作業スペースとの間仕切り兼陳列スペース。元はなかったのでゼロから作り足した。コチトの生花を一人で受け持つ前山真吾さんは、専門学校入学のために長野から上京したものの打ち込めずにいたところ、偶然訪れた花屋さんで衝撃を受け、専門学校を辞めて街の花屋さんでアルバイトをはじめた。当時は花の名前すらほとんど知らなかったが必死で働き市場に同行させてもらえるようになり、少しずつのめり込んでいき現在に至る。

花と焼き菓子とカフェの店「コチト」を、前山真吾さんと由佳さん夫妻がはじめたのは2014年。19歳から花の世界に入り約19年という真吾さんが花を、カフェ勤めの経験がある由佳さんがお菓子とカフェを担う。結婚前からずっと温めていたその構想を実現したいと思ったタイミングで出合った物件が、今の店舗だった。西荻窪はもともと好きな街で知り合いも多く、物件が角地にありサイズ感もちょうどよかったことから借りることを決めた。

築50年ほどになるこの物件の前身は不動産会社で、完全スケルトンの状態からの開始。当初、具体的な○○風などのイメージはなく、お菓子のかわいい感じとは逆に、店は少し冷たいようなシンプルデザインにすることで全体のバランスを取りたいと考えていた。デザインは友人のHYOTAさんに依頼、細かに相談しながら作り上げた。課題は空間をどう活かすか。今でこそカフェは独立し移転したが、当時は花店とカフェ、さらにそれらの作業スペースを29㎡のなかに凝縮する必要があったからだ。そのため、収納や作業場も見えて絵になることを意識し、壁にはできるだけ棚を作り付けた。入れるべき要素は多かったが"余白を感じる空間"にしたいと思っていたので、生花などの商品は厳選したものだけを置くことに。そうして生まれたゆとりと見やすさを兼ね備えた空間は、物理的にも心理的にも心地よく感じた。

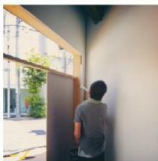
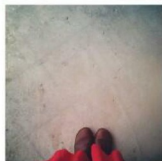
左／床はまず黄色に塗ってから、踏んだり使い込むことで自然な経年具合を演出。うっすら見える黄色がオシャレ。　右／天井を抜いて出てきた梁はそのまま利用。年季の入った木の風合いがいい味を出している。

余白を感じる店づくり

カウンター向こうに作り付けた棚は、見せる収納。もともとカフェの食器などをストックするためのスペースだったがカフェ移転後は資材置きに。木材はHYOTAさんが木材店で買って来たもの。この棚の下にはシンク。こちらも見えてもオシャレなものをと探していたが既製品では見つからず、内装デザインを手がけたHYOTAさんがモルタルで手作りしてくれたそう。思い出の一品。

上／角地にあり、覗いてみたくなる入り口。　右下／ダクトにはドライフラワー。空間全体が線でつながっているようなディスプレーを心掛けていて、そのせいかスッキリとまとまった印象を受ける。　左下／ベースの台にしたコンクリートや内装のハードな感じと合わせて、植物の鉢も同じテクスチャのものをセレクト。サボテンは真吾さんが直接仕入れに行ったこだわりのものばかりだ。

偶然空いた隣の物件を借りて、昨年11月にカフェスペースを独立オープンした。こちらも花店同様HYOTAさんによるデザイン。 左／内装のイメージは博物館。暗く落ち着いた空間に、間接照明が浮き上がる。友人の家具屋さんが作ってくれたテーブルなど、インテリアは北欧風で。 上／カフェの入り口と看板。シンボルツリーのオリーブは樹齢100年！ 右／外の扉を開けると薄暗い神秘的な廊下が登場。右側の壁はもともとはなかったが、この演出をするために外壁を立ち上げた。天井のドライフラワーを含め、ここを通るとなにがあるのだろうというドキドキ感が楽しい。

before

施工前の様子。外壁も解体して大々的に改装した。張ってあった床材をはがすとコンクリートが出現。これを塗って使い込み、いまの状態に仕上げた。壁のペンキ塗りなどは自分たちで。

Construction Information

- オープン日：2014年8月21日
- スタッフ数：5名（製菓担当）＋前山さん夫妻
- 建物規模：地上2階建て（1階部分）＋隣にカフェ店舗
- 床面積（㎡）：約29㎡
- 設計事務所：HYOTA
- 工事期間：約4ヵ月
- 総工費：約1,100万円（カフェスペースインテリアやオープン等込み）

 撮影／徳田 悟　写真提供／cotito(P.13before)

明確なビジョンで
導き出したカタチ

物件には2つの空間があり、一つを生花＋撮影スペースに、もう一つをワークショップ＋ドライフラワーのスペースに振り分けた。こちらは生花＋撮影スペースの入り口からの景色。中央に大きなテーブルを配し、それを囲むように作業台や撮影用の壁面、オブジェ提案用のコーナーなどがある。特徴的なランプ含め、インテリアはほとんどがお気に入りのロンロのもの。

とくにこだわったという壁の前で、店主の室積えりかさん。この壁はベニヤの上に特殊左官の手法を用いて石膏で形づくった特製だ。施工はサビコニアの東原繁雄さん。前職の経験もあって店舗デザインはおもに室積さん自身で考案したが、ところどころを友人たちに助けられた。室積さんが大切にしてきた人のつながりが、店には息づいている。ここはスタンド花など花の商品だけでなく、個人向けのレンタルフォトスペースとしても活躍している。

　東京は戸越の雑貨店の一角にあった「ムロマメ舎」が、自身の花店を構えたのは昨年2月のこと。「高校生のときから、自分の空間を作りたいと思っていました」という店主の室積えりかさんは、ゼネコンの現場監督やインテリアコーディネーターを経てフローリストになった。独立を考えた時点で戸越なら土地柄、倉庫や工場物件があるはずと探していたところこの物件を発見。元プレスの町工場で、濃いオイルのニオイが漂い、ガラスも割れ水道もなく……という状態だったが「ここだ！」と直感で決定した。

　なかでも室積さんがこだわったポイントの一つが〝壁〟。雰囲気のある壁面と、その前にゆとりのあるスペースを作ることで、大きなスタンド花の撮影もスムーズになった。ムロマメ舎ではスタンド花の需要が多く、注文主に届けた花の写真を送付する際、以前は狭い場所で苦労して撮影していた。この壁がその解決に一役買ったばかりか、ただの商品写真でなく、記念になるような雰囲気のよい写真が手元に残ると注文主からの評判も上々だ。さらには個人向けのフォトスペースとしてもレンタルしていて、記念日や家族写真の撮影に利用する人も増えている。

　見た目のよさもさることながら、空間をなんのためにどう使うかを見据えて設計されたムロマメ舎。それは室積さんのお客様への思いがカタチになった姿、そのもののように感じた。

shop data

ムロマメ舎

東京都品川区戸越2-4-3 1F
TEL:090-9135-1419
営業時間、定休日:SNSで確認を。
ムロマメ舎
@muromamesha
mail:info@muromamesha.com
http://www.muromamesha.com/

壁の前には十分なスペースがあるので、大きなものも引いて全身を撮ることができる。壁にはいくつかのフックが取り付けてあり、スワッグやリースもセットしやすい。

上／こちらはオブジェを提案するコーナー。アイテムを吊るすための管を配したり、壁を撮影スペースとは逆にシンプルにしたりとデコレーションしやすく映える仕様にしてある。こうしたスペースを持ったことで、お客様により提案がしやすくなったそう。　下／古いミシン台の上に大きな板を取り付けた自作のテーブル。ミシン台は馴染みのミシン屋さんに値頃な価格で譲ってもらったもの。

外観。窓枠の周りにワイヤーメッシュを設置し、鉢物などを掛けやすく工夫。看板は海辺で拾ったお気に入りの木材を使って、看板のプロである友人が作ってくれた。大きな置き看板は入り口のアイコンに、小さな看板は通りでさりげなく見えるサインに。

ワークショップ＋ドライフラワーのスペースは、グレーの濃淡の壁色で落ち着いた雰囲気。この空間にあるドライフラワーからビュッフェのように好きなものを選んで作品作りができるワークショップはリピーターも多い。水道は外から室内に引いている。

左／倉庫時代のブレーカーをあえて撤去せずに残した。年月を感じる容貌がドライフラワーの朽ちゆく姿と響き合う。　右／窓やドアのアルミサッシは、金属のような風合いの出るアイアンペイントの黒と茶のペンキを混ぜて塗った。塗る作業よりも窓ガラスなどのマスキング作業が大変だったとか。

ムロマメ舎

before

撮影用の壁を特殊左官で作り上げている様子。なにもないフラットな壁に凹凸と風合いが生まれる様は手品のよう。

Construction Information

- オープン日：2019年2月8日
- スタッフ数：1名
- 建物規模：地上3階建て（1階部分）
- 床面積（㎡）：約18.86㎡（店舗）、約21.50㎡（ワークショップスペース）
- 設計事務所：sabiconiaほか、室積さんやその分野のプロの友人
- 施工会社：地元の施工会社ほか、友人、室積さん
- 工事期間：約1ヵ月
- 総工費：約300万円

 撮影／徳田 悟　写真提供／ムロマメ舎（P.17before）

再生した工場を満たす、
コーヒーの香りと緑の気配

右／心地よく光が射し込む1階。植物が顧客の手に渡ったときにもきちんと育ってほしいという想いから、この室内環境に十分慣らしてから販売する。仕入れたとき鉢の根がパンパンに絡んでいれば状況に応じて植え替えも。ビジュアルとしてだけでなく、ともに暮らせる存在として植物を提案している。店の植物はどれも購入可能。コーヒーも美味。左上／代表の丸野信次郎さん。奄美地方出身で、工務店の屋号「ゆくい堂」は当地で休憩や休息を意味する言葉から名付けた。

shop data

Route books ルートブックス

東京都台東区東上野4-14-3
Route Common 1F
TEL：03-5830-2666
営業時間：12:00～21:00
定休日：不定休
Route Common
mail：contact@yukuido.com
https://route-books.com

「ルートブックス」はその名の通り書店であり、またコーヒーショップでもあり、植物を売る場所でもあり、ワークショップやイベントを行うスペースでもある。ここは築50年にもなる工場跡だった。使い込まれた傷や痕跡をなるべく残しつつ建物を"再生"させたのは代表の丸野信次郎さん。丸野さんは工務店「ゆくい堂」の代表も務める。ゆくい堂は素材と空間が持つ力を大切にしたモノ作りを指針としていて、そのアトリエがこのエリアに越して来たのがそもそものはじまりだった。アトリエの向かい側の建物が偶然空き、そこが今のルートブックスとなった。

うっそうとした緑をくぐるように入り口の扉を開けると、一気に開けた明い空間が飛び込んでくる。見るからに居心地がよさそうだが、実際に座ってみるとさらに快適なことに気づく。「隣の人の声が聞こえないくらいの距離感で」と丸野さんが語るように、席と席のゆとりがその一因だ。さりげなく目の端に写り込む植物の配置も絶妙。店はこれで完成形というわけではなく、絶えず手を加えてアップデート中だ。

今では週末に産直野菜の販売も行い、今後は音楽レーベルを立ち上げる予定だとか。幅広い取り組みの理由を尋ねると「いいと思えるものだけを届けたい。ここを軸にいろいろなカルチャーを発信できたら」。変化を止めない空間が、人や価値観のつながりも育み続けている。

右・下／外観の壁は元の色を活かした。廊下の奥にある外階段は新たに作り付けたものだが「もともとこうだったように作っています」という丸野さんの言葉そのままに、まったく違和感がない。左隣は人気のピザ店。ルートブックスでイートインすることもできる。 上／店のシンボルマークは、丸野さんの実家横にあるガジュマルをトレースしたもの。看板やショップカード、オリジナルTシャツにも使われている。

左／インテリアは基本的に廃材をリメイク。エコなうえに元工場の風合いともよく馴染む。このイスは金属の足を取り付けて、キッチュで安定感のある仕上がりに。 中／フローリングの余剰材を活用して製作した本箱。中途半端な長さに残ったフローリング材も、小さめサイズの箱であれば十分に使える。独自性のある選書も楽しい。 右／手前のパキラは店内で育って3年経つアイコン的存在。LEDと窓からの光だけでも生き生きとしている。パキラのトンネルを通って店の奥に進む感じにワクワク。

左上・左下／2階。1階とはガラリと変わって無骨な空間に静かな光が印象的。ワークショップや陶芸教室、ライブなどさまざまなイベントも行う。こちらの植物もすべてディスプレー兼商品。　上／オークの建具と壁の淡い緑が素敵な一角は、取材の1ヵ月〜1週間前に手を入れたばかりだった。店全体が、本業である工務店業のサンプルとしても機能している。

再生した工場を満たす、コーヒーの香りと緑の気配

3
探訪！
花屋さんの
ショップデザイン
flower shop design ideas

店と道路を挟んだ向かいにあるショップでは、おもに小さめサイズの植物を販売。植物の担当者が丸野さんと相談しながら大田市場で仕入れてくる。フローリング余剰材の切れ端は、最後の最後、テイクフリーとして顧客サービスに。鉢物を置く台としても好評。

Route books　ルートブックス

Construction Information

- オープン日：2015年11月
- スタッフ数：4名
- 建物規模：地上2階建て
- 床面積（㎡）：約160㎡
- 設計事務所、施工会社：ゆくい堂
- 工事期間：6ヵ月
- 総工費：約500万円

花店の店舗デザインについて

すてきな花店ができるまでには
オーナーの好みを理解して形にするデザイナーの存在がある。
デザイナーの目線から花店の店舗デザインを知ろう。

壊しながらデザインする

広島県呉市で既存の建物を生かしつつモダンな空間に生まれ変わった店舗が増えている。手掛けたのは建築デザイン事務所「ファゾム」。クリエイティブディレクターの中本尋之さんに話を聞いた。

Q 老舗花店「フローリストナカムラ」、注目のドライフラワー店「ボタニコ」。中本さんが手掛けた呉市の花店がおしゃれに姿を変えています。花店だから気をつけてデザインしたところはありますか。

花屋さんだから空間として気をつけたことはあまりないです。フローリストは作家なので作家のイメージを崩さないことが一番。空間のモジュール感（人体をもとにした建造物を作る際の基準となる寸法）とか作家だけではできないことを自分が補って、お互いを信じてコラボしてやるようなイメージです。僕の思いが強すぎると、店のオーナーとなるフローリストの空間にはならない気がするので。その人たちが培ってきたフローリストとしての思いなどを絶対に壊してはいけない。フローリストナカムラのデザインを通じて、花屋さんのデザインは作りすぎない方がいいのかなとは思いました。例えば、飲食店なら小物までこだわって全部プロデュースすることもあります。でも、花屋さんは花を飾って視覚・嗅覚で勝負する仕事なので、僕の作品性を押し出すというよりは"自分が作る空間は花器"であるという気持ちで作りました。

Q 花店でも既存の建物を生かした店が増えています。どの程度今ある姿を生かすとモダンな空間になりますか。

既存のものを残す・残さないのバランス感覚は培ってきたもので、法則性のようなものはないです。現場に行ってあるものを壊すところからデザインははじまっています。壊したなかになにがあるかはわからないので、解体工事に立ち会って現場の空気を感じるのが大事です。自分が空間に立ったときにここいいなとか、自分のテンションが上がる瞬間や、壊したときにおもしろいものが出てきたというシズル感を通して残すところを決めています。予算にもよりますが、2～3割くらい残したいですね。既存を残すということは解体工事が仕上げ工事になるので、コスト的にも安くはなります。

Q 限りある予算のなかで、絶対コストカットしてはいけないところ、コストカットしやすいところはどこでしょうか。

人の手に触れるところはきちんと作った方がいいです。絶対に偽物を使わない。プリント柄、木目調のメラミン化粧板やクロスとか、〇〇調のものは完成直後はいいです。でも、店舗がエイジングされていくと、そこだけ年をとっておらず違和感が出てきます。本物の素材を使っていれば経年変化していいアジが出ていくので、特に人の手に触れるカウンターの天板などはお金かけるべき。広い面積にお金をかけると家具など人が触れるところにコストがかけられなくなるので、壁面はシンプルもしくは既存のものを使うといいです。

Q これから店を持ちたい人・店をリノベーションしたい人がデザイナーへ作りたい店舗イメージをしっかり伝えられるベストな方法はなんでしょうか。

写真で作りたいテイストを共有するのは必要だと思います。でも、「写真のイメージそのままを作って」となると、写真以下のものにしかならないので断ります。写真のなかのどういうところに惹かれているのかという話し合いが大事です。こういう雰囲気が好き、こういうテイストにしたい、この配色のバランスが好きとか具体的に言ってもらえるとイメージが伝わりやすくとても助かります。

FATHOM
ファゾム

中本尋之さんがクリエイティブディレクターを務める商業空間・住空間のインテリアデザインを軸に建築デザインのクリエイティブディレクション・設計・管理を行う建築デザイン事務所。

広島県呉市中通4-2-14 西田ビル2F Fathom @fathom_design https://fathom-design.jp

中本さんが手掛けた呉市内の店舗は約25件にものぼる。
1：広島大学内に昨年オープンした複合スペース「スペース ワン」。「アウトドア」をテーマに屋外にいるような気分になれるドライやグリーンのハンギングが印象的。 写真／足袋井竜也（足袋井写真事務所） 2：1階にスペイン料理店・スポーツバーが入る複合施設「バベル」。装飾を撤去し、剥き出しとなった鋼材や外壁に植物を着生させている。株式会社 吉村店内創美在籍時の作品。 写真／ボンドナカオ 3：「天空の城ラピュタ」が空間のテーマとなった美容室「ミヤニシ ヤケヤマ」。ラピュタに根を張る緑を飛行船から眺めているような外観。 写真／足袋井竜也（足袋井写真事務所）

花店の店舗デザインについて 1

FATHOM Design

既存を生かした花店のリノベーション例

本誌でも取り上げた2店のデザインのポイント、裏話を中本さんに教えてもらった。

botanico
ボタニコ

1：建築業界は物と物の配置を均等にしたり、水平方向の高さを全部合わせたりとか、きれいに見せたいんです。でも、オーナーの西川さんからはなるべくランダムにしたいと言われました。整えないというのが西川さんの持っている世界観だったので、店内に並ぶペンダントライトの配置もちょっとずらしたりするなど、普段手掛けているデザインとのギャップはありました。

2：雨漏りをして2階の床が沈んでいたので、補強して新たに床を作るくらいなら壊して見せたら、と提案しました。垂直方向を見せる空間にしています。

FATHOM Design

3：空間デザインのトレンドは、どんどんシンプルに研ぎ澄まされていっているように思います。でも、西川さんはザラっとした質感だったり、色ムラだったり、サビにこだわりがあって、表層的な部分は西川さんと世界観を相談しながら作り上げました。外部の開口のバランスは僕が自由に作っています。西川さんのなかで、「どうせやるなら私が作ったもの、建物自体がランドマークになるようなものにしたい」という気持ちがあり、思いっきり開口をとったらどうかと提案しました。

4：もともとはビデオ店で今の店舗にある2階まで続く大きな窓はありませんでした。（写真／中本尋之）

shop data

botanico ボタニコ

広島県呉市中央3丁目12-15
@botanico0220
https://www.botanico-botanico.com

FLORIST nakamura

フローリストナカムラ

花店の店舗デザインについて 1

FATHOM Design

1:豪雨災害の際の補助金を利用してファサード(建物の正面デザイン)を変えたいという相談がありました。理想のイメージとしてとして、モルタルを使ったシンプルな店舗や、黒っぽいザラザラした壁面のソリッドな印象の花店の写真なども見せてもらいましたが、ファサード部分の改修だけなので、表だけシンプルにしても既存の店内とのバランスがとれません。おしゃれな店が並んでいる場所にソリッドな店ができると抜けになってかっこいいかなと思うんですけど、フローリストナカムラの周りは昔ながらの街並みが残っていてシンプルにしすぎても違和感があります。シンプルななかにもフローリストナカムラらしい新しいなにかを提案できたらと考えました。

3:カウンターは、花束を作る手元作業がトリミングされて美しく見えるようにどう開口を切り取るか、を考えました。

2:花屋さんには静と動の2軸があると思って。静は花が陳列されていること。動は花束などを頼まれてその場で作ること。この2つをコンセプチュアルに表現できたらな、と思ってデザインしました。動のほうは、表に大きなカウンターと待合を作って、そこで花束を作る姿が絵になるように。静のほうは、外壁に目盛りをつけて商品を置いたら高さがわかるようなギミックを入れたりとか。僕が思う花屋さんの機能を2つにわけてファサードに反映させた感じです。

4:店内をどれくらい見せるかもポイントです。以前のフローリストナカムラはいつもおしゃれにしているけれど、窓が小さくて店内は暗い雰囲気でした。しっかり開口をとって、人の目線のところに目立つものを置く。照明の照度は以前と変わっていないけれど、開口をとることで店内は明るい印象になっています。

shop data

FLORIST nakamura　フローリストナカムラ

広島県呉市中通2-6-3
フローリストナカムラ　@florist_nakamura
http://florist-natural.com

 写真／中野章子(P.24、25)

自分らしいショップデザインのために

設計士、デザイナーとのつながり方

東京・神宮前「ボイス」の香内斉さんと、ボイスのデザインを手掛けた「コンテ デザイン」の山田隆俊さんに、自分らしいショップデザインを実現するためのパートナーの探し方、コミュニケーションの取り方などを、実例とともに話を聞いた。

フローリストから

Q どのようなきっかけで、内装をコンテ デザインへ依頼したのでしょうか?

お店を持ちたいと思っていたときから、いろいろなお店を見ていました。もともと、前職のつながりで山田さんのことは知っていたのですが、山田さんが手掛けた作家さんのアトリエや美容室を見て、目指す空間作りが似ているように感じました。自分が店を作るなら、彼に頼みたい!という思いが大きくなり、依頼しました。

Q ショップのイメージを伝えるときに、大きな鍵になったものは?

SNSなどで見つけた海外のインテリア画像とデンマークの画家ヴィルヘルム・ハンマースホイの絵画です。この絵のようなニュアンスの店にしたい、と早い段階で伝えました。ほかにも、20年は続けられる店にしたいので尖った雰囲気ではないこと、女性が親しみを持つ雰囲気であること、男性がオーナーなのにやわらかな空気感というギャップなど、希望するイメージを言葉でしっかり伝えました。

1:香内さんが山田さんとの打ち合わせに持参したヴィルヘルム・ハンマースホイの絵。落ち着いた色のなかにも優しさと温かみがある。 2:左から山田隆俊さん、香内斉さん。偶然にも二人とも黒いファッションで取材に臨んだことからも、相性のよさが伝わってくる。

Q これから店作りをはじめるお花屋さんへのアドバイスは?

感性が似ているデザイナーと出会えることが大事だと思います。山田さんには、僕が形にしたいことや素敵だな、と思うことに対して似た意見を持つことが多かったので、とてもスムーズでした。この経験から、やりたいビジョンをしっかり理解してもらうためにも、オーナーと同世代の人にお願いするというのもいいと思います。

花店の店舗デザインについて 2

香内 斉
Hitoshi Konai

ボイス代表。福島県出身。大学卒業後、インテリアの仕事から東京・中目黒の「ファーヴァ」を経て、2017年に独立。ショップ業務以外に、装飾やワークショップなど幅広く手がける。店内のギャラリーにて、多彩なアートの展示会を随時開催している。

インテリアデザイナーから

Q ショップデザインを作るときにほしい情報は？

ショップの場合は、ショップに立つ人とショップの空間が噛み合うべきだと考えています。洋服が人となりを表すように、SNS、好きなインテリア、音楽、小説、口調、思いなどから、依頼主がどんな人かというのは、総合的に導き出し、あらゆる情報を噛み砕き、考えていきます。その人をたくさん知りたいので、どんな情報でもいいから伝えてほしいですね。

Q 自分に合うデザイナー、設計士を探すコツは？

まず、憧れのショップがあれば、そのお店で設計やデザインを誰が手がけたか、聞いてしまうのがおすすめです。意外に皆さん教えてくれるものです。私の場合も以前手がけたショップを見て、仕事の依頼が来ることが多いです。雑誌やSNSでアンテナを張るのもいいでしょう。相談の段階で、デザイナーや設計士の感性に、自分のショップを委ねられるかを判断するとよいのでは、と思います。

Q 依頼までに、準備しておくことは？

香内さんの場合は、最初からフリースペースのある花屋を作りたいという明確なビジョンや将来像をしっかり伝えてくれていました。デザイン面での希望のビジュアルだけでなく、将来どんな仕事をしたいか、どんなビジョンの店にしたいかなど、表層的なデザインだけでなく、希望とする将来像を明確にするとデザインの可能性が広がりますね。

Q 内装の依頼から完成までは、どのくらいの期間が必要ですか？

ほとんどの仕事は、3、4ヵ月ですが、半年くらい期間があると余裕がありますね。ボイスの場合は、秋に依頼を受けて年末にはほぼ完成という流れでとてもスムーズでした。

Q ボイスを作るときに大変だったことはありますか？

香内さんとは感覚的に似ているものがあり、目指しているものが似ていると感じることが多くありました。通常の案件だと仕上がりのイメージを生み出すために、自分のなかで「格闘する」時間が多かれ少なかれあるのですが、香内さんとの仕事は阿吽の呼吸のようにうまくいきました。

3：香内さんの「光を大事にしたい」という要望を汲み取り、もともとあった窓を潰して壁にして、静けさが感じられる空間に。窓を減らすことで、光が入る向きが限定される。印象的な照明はセルジュ・ムーユのもの。 4：ガラスで仕切られた花の部屋。引き出し付きの花台は、山田さんのオリジナル。香内さんから渡された海外の昔のキッチンの写真を参考にし、白い引き出しに優しさが感じられる濃いグレーの天板を合わせた。花台と壁の間に空間を作り、大きな枝物や葉物などを置けるスペースを確保した。 5：山田さんが施工前に用意した壁色のサンプル、どれもグレーだが微妙に色調が異なる。塗料に大理石の粉を混ぜて、壁に凹凸が生まれ、光により見える色の変化や陰影が現れる。壁に塗った色は、右下のピンクがかったグレー。

shop data

conté design コンテ デザイン
神奈川県川崎市高津区下作延1-1-7 Conté design @contedesign_inc
mail:info@conte-design.com http://conte-design.com

山田隆俊
Takatoshi Yamada

株式会社コンテデザイン代表、インテリアデザイナー。武蔵野美術大学卒業後、インテリアデザイン事務所勤務を経て、2014年独立。建築、インテリアデザイン、家具、プロダクト、グラフィック、WEBと、インテリアデザインに限らず、身の回りのモノ、コトをデザイン、ディレクションしている。商業施設に限らず、個人宅やオフィスなども多く手掛けている。

キーワードで見るショップデザイン

ショップ作りのキーワードから店内の細部を紹介

花の部屋

1：香内さんが当初から作りたかった花の部屋。既存のエアコンの位置を生かし、レイアウトを山田さんと決定。ガラスと壁、桟の比率は、黄金比を取り入れ、核となる花が際立つように桟はギリギリの細さに仕上げた。花台の天板とガラスの外の木枠の高さを揃えてフラットな印象に。

余白のある空間

2：もともとあった窓を減らし壁面を増やすなど、ショップ全体に余白を作ることを意識した。空間に余白があることで、それぞれに異なるシーンが生まれ、ワクワクする空間の連続になると、山田さん。写真は、花の部屋とストックルームの間にある廊下のようなスペース。　3：山田さんからの提案で、エントランス前に1本だけある柱の後ろに少し空間を取ってバックヤードを作った。空間に余白を足すというイメージだ。「この柱は壁のなかに埋めてしまってもいいかと僕は思っていたのですが、山田さんからの提案で残しました。そのお陰で入り口から見たときに奥行きが感じられるようになりました」と香内さん。

4

5

6

8

7

静けさと優しさ

4：ボイスのショップ作りのテーマは「静けさと優しさ」。山田さんが、ヴィルヘルム・ハンマースホイの絵を見たときに、思い浮かんだのがモールディング。「梁のない空間だったから、モールディングを取り入れられた」と山田さん。壁にモールディングがあることで、クラシカルかつ優しい空気感に。 5：壁に窓のアルミの枠があるが、ボイスでは壁と同じ塗料で塗りつぶし、見えないように手を加えている。こんなところも、静けさの理由。 6･7：花の部屋の外枠にもアールをつけることで、優しい雰囲気が加わる。ギャラリースペースにあるアンティークの棚の上部の形ともリンクしている。 8：事務スペースや水場はすべてバックヤードに収めて、店内からは見えないように。入り口をアールにした理由を香内さんは、「店内に角が多い印象なので、丸いフォルムがどこかにあるとやわらかさが出ると思い、お願いしました」。

before

施工前のギャラリースペース（左）とエントランス周り（右）。天井の蛍光灯と窓、柱の存在感がある。

shop data

VOICE ボイス

東京都渋谷区神宮前3-7-11
JINGUMAE HOUSE 1F
TEL:03-6883-4227
VOICE　@voice_flower.jp
mail:info@voice-flower.jp
http://voice-flower.jp/

Construction Information

- オープン日：2017年1月
- スタッフ数：2名
- 建物規模：地上2階建て（1階部分）
- 床面積（㎡）：約45.74㎡
- 設計事務所：conté design
- 施工会社：Shanti Art Works
- 工事期間：約3ヵ月
- 総工費：約400万円

 写真／岡本譲治　写真提供／VOICE(P.29 before)

探訪！花屋さんのショップデザイン

作るなら店のオーナーである自分が納得できるショップにしたいもの。
こだわり派のショップの様子をすみずみまでチェック！

お客様が気軽に
足を運べる空間に

shop data

TANE.FLOWER&LIFE LABORATORY

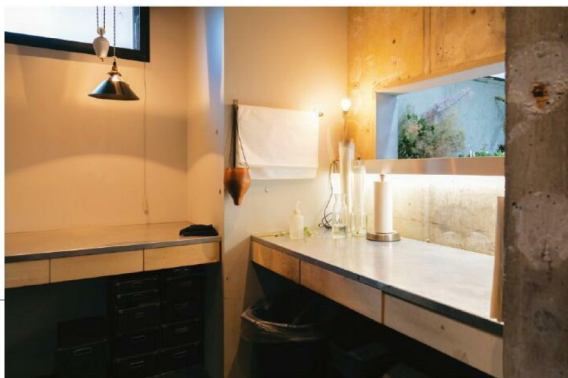
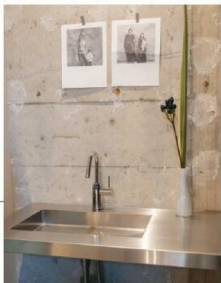
タネ フラワー アンド ライフ ラボラトリー

富山県富山市布瀬町南3町目1-2
TEL:076-493-1518
営業時間:10:00〜18:00
定休日:月・第3日曜日、ほか不定休あり
@tane.flower
mail:flower.tane@gmail.com
http://tane-flower.com

右ページ／移転前の店舗は人が行き交うのも大変なくらいものがあった。今の店舗は以前より広く、来店した人の話し声が楽しげに聞こえてきて空間が生かされているような気がするそう。
上／花を束ねる坂林さん。市場で出合って、これ！と直感で選んだ花が並んでいる。切り花はお客様が自由に手にとって選べるようにしている。

2004年に店舗をオープンし、リニューアルを挟みながら15年以上、富山で活躍している「タネ フラワー アンド ライフ ラボラトリー」。以前は、アンティーク調の木の風合いにところどころ黒が効いた店内だったが、2年前に現在の場所に移転。コンクリート打ちっぱなしの空間に花と厳選された雑貨が並ぶスタイリッシュな空間に変身した。「花屋さんで1、2本買っただけでもなんか幸せな気持ちになるような、そういう店をやりたくて16年前にはじめました。根本は変わらないんですけど、続けている過程で自分のなかに変化とかも出てきたりして、大人っぽい空間にしたかったんです」と話すのはオーナーの坂林美貴子さん。内装を手掛けたのは開業から5年経ったリニューアルの際にもお願いしたデザイン会社。オープン祝いの花を届ける度に自分好みの店舗に出合うとデザインしたのが誰か聞いていた坂林さん。同じデザイン会社の名前を聞くことが重なりずっと依頼したかった会社だった。細かく指定はしなかったが、理想のイメージの写真を見せたり、何かを買わなくてもふらっと立ち寄れる、男性が来店しても居心地がいいと感じるなど、これからしていきたい店をデザイナーに語って形にしてもらった。取材中も慣れた感じで切り花を選ぶ女性、ギフトの相談をする男性や親子連れで店内を見て回る様子もあり、近くに住む人がちょっと立ち寄りたい店になっている。

上／生花のコーナーの一角には娘の優乃さんがチョイスしたヴィンテージの花器が並ぶ。
左／以前はキーパーを置かずに生花を管理していたことで、店全体が冷えて体調を崩すことがあったため、ガラスで区切られた小部屋を作って生花を管理している。

お客様が気軽に足を運べる空間に

右上・左上／開業当初は一人でやっていたが、優乃さんも手伝ってくれるようになると、作業をする際に手狭な部分も出てきた。そこで、それぞれが使える作業台を設置。正面の壁に空間が開いているのは、向いにお客様のウェイティングスペースがあるから。会話しながら作業でき、お客様も退屈しない。
左／作業場のすぐ近くに作った深さの浅い洗面台。水場はほかにもあるが、ちょっと水をくんだり、手を洗ったり、少し離れた水場まで行くほどでもないときにあると便利。

左／以前の店舗も決して男性が入りにくい雰囲気ではなかったが、外で待っている男性もいたことが気になっていた。気軽に店を覗けるような雰囲気にしてほしいと依頼したことから、入り口が店内を見渡せる全面ガラス張りに。　上／作家物の器、鉢カバー、アクセサリーなど選び抜いた雑貨を販売している。

左／空間を変化させられるようにあえて仕切りは設けていない。重ねて高さを変えたり、仕切り代わりにもなる什器は、内装を手掛けた会社がオリジナルでデザインしたもの。来るたびにちょっと違う店になっていたら、という坂林さんの思いが込められている。　右／移転前の店舗で使っていた什器は処分しようと考えていたが、デザイナーから以前の備品も使った方が絶対いい店になると言われて現在も使っている。「自分の好きなものが本当にこの空間に合うのか、という部分はプロの目線にまかせたほうがいいなと思っていて。以前の店と雰囲気が全然違うので最初は不安だったんですけど、前のものが少しあったほうが店になじむかなと思いました」。　下／かつては中華料理店が入っていた建物。大きく外観は変わっていないが、店の入り口の位置などは大幅に変わっている。

TANE.FLOWER&LIFE LABORATORY

タネ フラワー アンド ライフ ラボラトリー

Construction Information

- オープン日：2018年9月8日
- スタッフ数：2名
- 建物規模：地上3階建て（1階部分）
- 床面積（㎡）：約147㎡
- 設計事務所、施工会社：HIP SQUARE
- 工事期間：約1ヵ月
- 総工費：非公開

　撮影／竹田泰子

完成まで2年！
オリジナリティあふれる
こだわり空間

右ページ／アイアンのフレームが印象的なヴィンテージ感たっぷりの扉。扉の外のスペースには観葉植物を置いている。　上／オーナーの糟谷健一郎さん。カウンターにしているのは白くて古い引き出し。引き出しを出し上段には板を乗せ、お客様の荷物置きスペースにするなど工夫が随所に。内装を手掛けた友人は、小学生時代からの仲。「僕の趣味を理解してくれていたことが大きいですね」と糟谷さん。

shop data

花時計　ハナドケイ

東京都大田区蒲田5-32-2
TEL&FAX:03-4285-9411
営業時間:SNSで確認を
定休日:日曜日、祝日
花時計 HANADOKEI
@hanadokei_
mail:flower@hanadokei.info

2016年3月にJR蒲田駅東口に移転した「花時計」。以前はデザイン事務所として利用されていた物件で60平米とゆったりとしたスペース。古い家具や木箱を什器にしている店内は、温かみがあって懐かしさとラフさが絶妙なバランスだ。

オーナーの糟谷健一郎さんは、移転にあたり「ほかのどこにもない店にしたかった」と語る。移転前の店は、花屋の居抜きだったことから、その思いは強かった。限られた予算ということもあり、内装業を営む友人に相談し依頼。友人が休日や仕事が終わった後に作業を進め、使用する什器や素材を糟谷さんがネットオークションで買い集めることで、コストダウンにつなげた。それゆえ、移転してから完成までなんと2年もかかった。「店舗のスタイルはあえてテーマを決めませんでした。強いデザインの内装になると、花との相性がおかしいこともあるので、どんな花とも合うようにと考えましたね」と糟谷さん。

こだわりは入り口のアルミ製の扉を外し、間口を広げて扉を少し奥に新設したこと。これは外から一歩足を踏み入れて、店全体が見てもらえるように、との思いから。印象的な入り口の壁とバックヤードの間仕切りは、古い窓枠や扉を組み合わせたもの。まさに唯一無二の花時計らしい空間だ。

左／入り口のシャッターは以前の借主がブルーに塗ったもの。あえて、残したのは友人の「経年した雰囲気がいいから」というアドバイスで。店の外観とマッチしている。　右／何もない空間に最初に手掛けたのは床と天井から。床は滑りにくいようにモルタルでたたきのような雰囲気に仕上げた。

完成まで2年！
オリジナリティあふれるこだわり空間

古い窓枠を組み合わせて作った壁。写真左が入り口、右が店内とバックヤードの間仕切り。サイズも雰囲気も異なる窓枠の組み合わせはユニークで目を引く。店前はビル風も強いため、奥まった空間にしたことで風の影響も少なくなった。

左／入り口付近にはもともとあった壁に合わせてストックルームを確保。季節の資材などを収納している。また壁は明るいアイボリーに、一部にはわざとクラックを入れている。　中／天井は配管とともに黒く塗り直したのみ。照明はレール式のスポットライトを利用し、レールをディスプレーに利用できるようにした。　右／スポットライト以外の照明には温かみのあるランプシェードや裸電球などを使用。広い店内に優しい灯りがよく合う。

上／エントランスから店内を見た様子。什器のほとんどが古い家具や木箱などを組み合わせたもの。ショップのシックな雰囲気とよく合う。　右／家具の多くはネットオークションで購入したが、中央の丸いテーブルは生け込み先の寿司店オーナーから譲り受けたもの。重厚感のある作りで、脚の形もユニーク。

左／グリーンのキャビネット付きデスクは色鮮やかで存在感たっぷり。　右／かつては学校で使われていたという丸い椅子が付いているテーブル。

before

施工前の様子。アルミ製の扉の撤去前と後。シャッター周りなどは手を加えていないことがわかる。

花時計　ハナドケイ

Construction Information

- オープン日：2016年3月
- スタッフ数：2名
- 建物規模：地上6階建て（1階部分）
- 床面積（㎡）：約67.22㎡
- 施工会社：友人
- 工事期間：約2年
- 総工費：約200万円

　撮影／岡本譲治　写真提供／花時計（P.37 before）

小さな感動を
積み重ねた結実

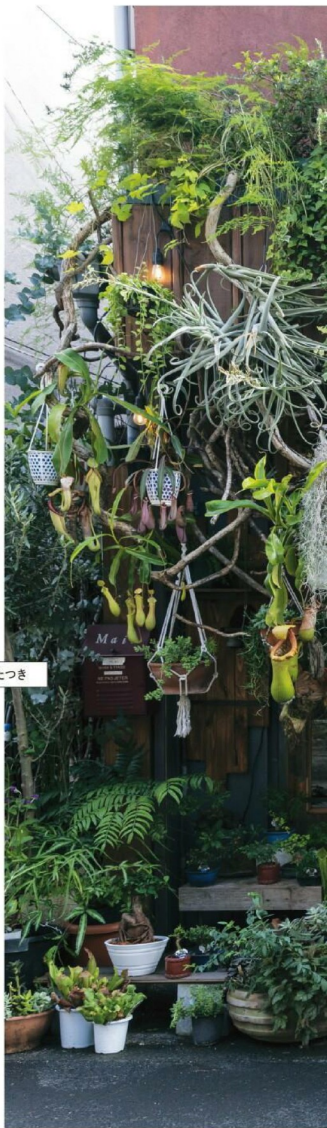
右／上部にあるシャッターケースには木材カバーを取り付けて目隠し。木材カバーは板1枚でも成り立つが、等間隔の板と角材を並べることでデザイン性を持たせた。角材は角を取ってあり、細部にこだわることで全体のクオリティを高めている。ここには鉢物を置くこともできて見せる収納も兼ねる。左側が入り口、右側は守岡さんお手製のミニ温室になっていて、沖縄から仕入れた植物などはここで状態管理しながらストック。ショーウインドーの役目も果たす。　左上／店主の守岡樹生さん。店を一人で作り上げた。

今年2月に産声を上げた花店「樹」。オープンから1年に満たないものの、不思議と前からここにあったかのような落ち着きを感じる。店主の守岡樹生さんは都内の花店や沖縄の植物園での勤務を経て独立。物件を探す際の優先条件は、天井が高くて賃料が安いこと。条件に合う物件を探しているとおのずと倉庫・工場物件へと辿り着き、今の場所に巡り会った。壁を白に、床を防水のグレーで塗る、トイレの設置などは貸し主が担ってくれたが、そのほかは完全スケルトンでの引き渡し。返却時は現状復帰が必要なので大掛かりなことはできない状況下でどれだけ理想に近づけるか。それをカタチにすべく店舗デザインはもとより、施工もエアコン設置以外はすべて一人で行なった。沖縄の植物園で勤めていた際にさまざまなDIY作業も業務の一環だったが、それが店造りに大いに活きた。

外観を含めて樹では木材が多用されている。それは植物をなるべく「自然の景色に準ずる飾り方をしたい」と守岡さんが考えたからだ。さらに「植物は時間をかけて育つもの。だから時間をかけたものと合うと思うし、合わせたい」と、心動いた古道具やアイテムを長年かけて集めてきたそうだ。年月をかけて「小さな感動を積み重ねてできた」からこそ、新店舗ながらもこの落ち着いた空気感なのかもしれない。

shop data

樹 -tatsuki-　たつき

東京都墨田区両国1-5-4
TEL:03-6338-4381
営業時間:11:00〜20:00
定休日:不定休 ※SNSで確認を。
@moriokatatsuki
mail:tatsuki@ohanakagyo.com

上／ミニ温室を店内から見た様子。側面が扉になっていて、内側からもメンテナンスができるようになっている。
左上／温室の中。物件のもともとの扉はアルミサッシで思い描く雰囲気とは違ったうえ要現状復帰で加工も不可だったため、温室の壁の一部として使用。保管場所の節約にもなり一石二鳥。温室は小型オイルヒーターと加湿器で。
左下／ほんの少しだが木材で外壁を立ち上げて、温室の奥行きを確保した。

小さな感動を積み重ねた結実

左／ライトの電球色は情緒があるが花の色が正確に見えないため、お客さんが外に出たときにがっかりされないようにと、白色もほどよくミックス。高低差を付けて調節している。　左下／思い出のあるタイのキャンドルポットは、底を抜いてランプシェードに変身！　下／グレーの床はあえて汚して古い趣きを出した。床板は元々倉庫のロフトに使われていたものを移設したもので、ロフトを半分抜くことで明るさを確保しつつ、使い込まれた板の風合いが味のある仕上がりに。ここも保管と実用を兼ねている。　右／通りに出している看板。植物や切り花を飾れる仕様になっていて目を引く。

無骨な作業場感を出したかったこととコストの面から、天井には合板を取り付けた。天井高は約4m。高さがあれば長い枝物も置くことができ、商品や作品制作において表現の幅が広がる。元は中央の鉄骨を囲むようにロフトがあったが、光源確保のため半分解体して床材に。もう半分はストッカーとして利用。顧客にファミリー層も多いことから、ベビーカーが通れるスッキリしたレイアウトに。

左上／接客スペース。 右上／ウェディングの仕事をしたいと考えていたので、全身が映る大きな鏡はマストだった。 左下／トイレの手洗い場は、裏にある作業場のシンクから引いてある。排水も高低差をつけて自然とシンクへ。 右下／作業場にはDIY用の工具がビッシリ。

before

施工前の外観（左下）と内観（右下）。現状からは想像できないほど事務的な姿だった。

樹 -tatsuki- たつき

Construction Information

- オープン日：2020年2月1日
- スタッフ数：1名
- 建物規模：地上2階建て（1階部分）
- 床面積（㎡）：約30㎡
- 工事期間：約1ヵ月
- 総工費：約60万円

 撮影／徳田 悟　写真提供／樹（P.41 before）

好きなものを集めて
ショップをかたち作る

右ページ／左奥の現在カウンターとなっている部分は壁を抜き、空間を広く取った。手前に建てたディスプレー用の壁面は、奥にあるトイレを隠す役割も果たす。壁面は少し黄みがかった白色で塗装。この色はオーナーの西淵さんが以前仕事で関わっていたイギリスのペイントメーカーの見本のチップを見て配合してもらったもの。 上／西淵さんのキャリアのスタートは、インテリア事務所での店舗改装のアシスタント。図面を起こしたり、内装のプランニングも行なっていた。アノームにはその経験が息づいている。

Atelier ANORM アトリエアノーム

富山県富山市西四十物町5-24
TEL:070-1072-1337
営業時間：11:00〜18:00
定休日：不定休 ※SNSで確認を。
@anorm__、@riewildvinewreath
mail:atelieranorm@gmail.com
https://www.atelieranorm.com

西淵吏英（にしぶちりえ）さんが花をはじめたきっかけは、友人の誕生日に作ったリースだった。リースの土台となる蔓が身近にある環境で、生花は普段飾っていたものをドライにしていたこともあり、花材には事欠かなかった。そうして、働きつつ「リエワイルドヴァインリース」としての作家活動がスタート。ちょうどインスタグラムが登場した時期も重なり、作品を載せるとオーダーは増加。人気となる一方、ダブルワークで常に忙しく、中途半端な生き方をしていないか、と悩むことに。

8年ほど活動したのち、花に絞る気持ちが固まって作った拠点が、昨年11月にオープンした「アトリエアノーム」だった。旅先で買った器、好きなアート、小さなお客様からの手紙。さまざまな要素が入り混じっていても店内が美しいのは、「花屋さんの場合、花とか家具が入るとお店のスタイルができあがってくると思います。私自身インテリアやアパレルを経て花の世界に飛び込んで、コーディネートって似ているなと感じています。組み合わせ方で統一感を出したり、パンチを効かせたり、抜け感を作ったり、色や質感から出るニュアンスを大切にしています。私はいろんなものをミックスした力の抜けた感じが好きなので、アトリエは今の私を表したような空間になっています。花もこの場所の空気をまとった表情になっている気がします」。

花と花器、什器などが交ざり合って調和が取れた西淵さんのセンスが伝わる空間だった。

好きなものを集めて
ショップをかたち作る

左／店奥から入り口を望む。器や書籍が並ぶ大きな棚は、ディスプレーシェルフでもあり、店舗正面の大きなガラスから入る夏の西日避けにもなっている。 右／インテリア事務所に勤務していた際、いつもすてきな建具を作っていた川瀬家具店にドアの製作をお願いした。もし自分が店を持つことがあるのなら、ぜひ依頼したいと思っていたそう。

棚には置いておくだけでも存在感のあるオブジェのような花器や私物の画集、雑誌などが並ぶ。お客様が待ち時間に手に取ることも。

右／手の形をした花器は西淵さんが一目惚れしてすぐに問い合わせしたもの。「お店ではアイコン的な花器で日本での取り扱いは初めてだったみたいです」。（写真提供／Atelier ANORM） 下／「ヴィンテージも、新しいものも、エスニックなものも、モダンなものも好きで」と、さまざまな形、色合いの花器がテーブルにも並ぶ。花器はオンラインでも販売している。

左／リエワイルドヴァインリースとして活動をはじめると、生花の依頼もくるようになった。花を飾る楽しさをお客様と共有したいと、アノームでは生花をメインに扱っている。壁にかかったポスターは写真家エドゥアール・ブーバが撮影したアンリ・ルソーの「夢」をオマージュした作品で西淵さんのお気に入り。
上／資材は引き出しに収納すると、すぐ取り出せる手前にあるものだけを使うようになってしまったため、有孔ボードを利用した見やすく使いやすい収納に。壁に貼った手紙やショップカードがお客様の目にとまり会話が弾むことも。

Atelier ANORM　アトリエアノーム

Construction Information

- オープン日：2019年11月11日
- スタッフ数：1名
- 建物規模：地上2階建て（1階部分）
- 床面積（㎡）：約37㎡
- 施工会社：bird wood works
- 工事期間：約1ヵ月
- 総工費：約150万円

上／ワークショップや展示会をするときに店内のレイアウトが変わるので、什器はキャスターがついていたり、天板と脚を分けて運べるようになっているものが多い。　左／店内にある椅子は自宅で使っていたもの、オークションで落としたものなどさまざま。写真の椅子は友人が開いていた古道具屋で購入した思い入れが深いもの。「いつかお店を持ったら」と先のことを考えて購入していた什器や小物も多い。

　撮影／竹田泰子

自分たちで育てた花を花束に

いつかは自分の畑で花を育ててお客様に届けたい。そんな憧れを持つフローリストも多いのでは？
昨年から花の栽培をはじめたドイツの花屋「マルサノ」の取り組みを取材した。

2005年にベルリンで誕生した「マルサノ」。花の販売のみならずヴィンテージの家具、花とともにあるライフスタイルのデザインにも重点を置くその姿勢は通常のフラワーショップの概念を越えた革新的な存在だ。そんな「マルサノ」が市内中心部から遠くない郊外の土地に畑を確保し、自ら花を育てることになったのはおよそ1年前の2019年秋のこと。「マルサノ」のスタッフで、畑に毎週訪れて花の世話をしているパズさんにそのきっかけを聞いた。「供給元から長旅の末に届けられる花だけに頼ることなく提供できること、有機栽培で花の再生力を促す土を使用することによる持続性を考えて試験的に実行したのがはじまりです」。その直後にやってきたコロナの影響下において“畑があり、そこに花がある”という事実が支えとなり、今後はさらに広い耕地での花の栽培を予定しているという。販売の際、地元の畑で育てられ、そこから運ばれて来た花というその背景に新たな価値を見い出してくれるお客様の存在も大きい。この畑では“畑からテーブルへ”のコンセプトでワークショップを行なっており、現在は12人まで参加可能。畑のツアー、花を刈り取ってアレンジするほか、陶器作りも含まれるのが「マルサノ」らしい。最後に花屋として畑を持つことについてパズさんに尋ねた。「考えるよりも実はたやすいことだと思います。広い土地でなくても土があれば、後は試行錯誤しながらとにかくやってみることで可能性が広がっていくのです」。

1：マルサノの花畑は畑というよりも広大な庭のようなプライベートな雰囲気。元来花畑ではなかったこの土地の土は入れ替えることなくそのまま利用して独自に土壌改良している。 2：沢山のつぼみがなっているダリア。「ダリアは輸送に弱いため地元で育てるのに最適なのと、年々増やすことができるのは大きなプラスです」とパズさん。 3：カレンデュラ、ルドベキア、アマランサス。ここで見られるのは花の連作。限られたスペースを最大限に生かす方法だ。 4：毎週のように花の世話と刈り取りに来ているパズさん。最適な頃合いを見計らって刈り取った花の茎はその場に落として土壌の養分に。「花に不要な部分はひとつもありません」 5：店頭販売用に当日刈り取られたダリア、コスモス、ルドベキア、そしてジニア。午前中に刈り取り、午後には店頭へ。輸入されたものに比べてはるかに長持ちする。

shop data

MARSANO ［マルサノ］

Charlottenstraße 75, 10117 Berlin
TEL：+49-30-2061-473
Marsano Berlin
@marsanoberlin
mail：info@marsano-berlin.de
https://www.marsano-berlin.de

 撮影／Shinji Minegishi

＼ リアルでもオンラインでも ／

フローリストが通いたい & 参考にしたいレッスン

花屋さんに勤めて基本的なことはできるようになったけれど、自分が納得できる形にならなくて悩んでいる人もいるのでは?そんなときに頼りたい花屋さんが開く花屋さんのためのレッスンを紹介。コロナ禍でレッスンの形態が変わるなか、インスタで人気のレッスンの秘密や撮影場所がなくてオンラインレッスンができなかった人にも必見の情報もあります。

floral design classes for florists

Part. 1 Lesson

ステップアップしたい人の強い味方

Iria
イリア

営業中に「スキルを磨くためにどこでレッスンを受けたらいいか」相談を受けることがあったという「Iria（イリア）」の田野崎 幸さん。独立前に勤めていた花店で新人や、大きいギフトを制作する人に向けてレッスンをしていたこともあり、スキルアップのためのプライベートレッスンをはじめたところ、花店に勤めはじめた人、5年以上の勤務経験がある人などがリピートするようになった。今回は、2年フラワーアレンジメントを学び、フラワーアーティストとして独立したばかりの人が生徒となり、イリアのプライベートレッスンでブーケを制作する。

1：作っている様子を見ているとその人の好みがわかるので、見本に導くのではなく、その人の好きな感じと用意した花のよさを活かす方法を融合して伝えている。
2：白グリーンの花材を使用。グリーンがかった花材が多めで色合いはライムグリーンとシルバーグリーンに分かれている。アクセントになるのが黒い花材。これらを組み合わせて高さ50ｃｍほどの風が通り抜けるようなナチュラルなブーケにする。

アナベル、トルコギキョウ、ガーベラ、トウガラシ‘コニカルブラック’、キク‘トモメーロン’、ロシアンオリーブ、ブプレウルム‘ファイヤーワークス’、銀葉グミ、ヒエ、スモークグラス、コアラファーン

Flower & Green

2

1

○東京都世田谷区等々力3-21-22 1F ○営業時間：12:00〜20:00 ※HPやSNSで確認を。○定休日：月〜木曜日
Iria sachi tanosaki　@iria.sachi　http://iria-sachitanosaki.com

1

1：まずは今日使う花材の説明。「全体的に白グリーンの色合いなんですけど、キクは花の中心のライムグリーンを強調していくときれいになると思います。花やつぼみが集中して付いているので間引いて使って大丈夫です」など、花の特徴、これから作るブーケのなかでどう使うかを一つひとつ説明していく。

2：生徒はブーケのメインにアナベルを選択。そこで、田野崎さんはアナベルを引き立てるサブ花材として、スパイダー咲きのガーベラを使ってみては、と提案。「まんべんなくブーケに入れず、少し集中して入れる部分を作ると野暮ったくなりません。顔も後ろ向きにしたり、すべて一方向に揃えず高低差と向きを調整して作為的になりすぎないように。きれいに入れすぎないようにするとナチュラルな印象になります」。

3

3：完成したブーケの写真や見本は用意せず絵に描いて説明。丸くて大きなアナベルがあるので全体的にはラウンドだが、アクセントとなる花材や動きのある花材が飛び出すようなフォルムを目指す。

4：決まりはなく自由に制作をしてもらう。10本ほど組んで形が見えてくるまでは切り過ぎそうだったり、バランスがおかしくなりそうなら、適宜アドバイスをする。

5：生徒一人で束ねたブーケが完成。一番苦戦したところは花を組んでいくときのバランス。「アナベルがメインなんですけど、大きくて周りに持ってくる花材とのバランスをとるのが難しかったです。マスにする部分、散らす部分に悩みました」。

6：完成したら花瓶に生け、前後左右さまざまな角度から写真を撮ってもらう。

2

4

生徒さんの作品がひとまず完成！

5

6

7：難しいと感じたところを踏まえて講評。「最初に絵で描いた大きなアウトラインと、飛び出す部分があったり、凹凸になっているので形自体はうまく取れています」と田野崎さん。「ガーベラのステムの向きで悩まれたんじゃないかなと思います。全部外側に顔が向いていないところはいいと思います。ブーケの外側に入れる場合は茎がつぶれやすく水が下がりやすいので、枝物とかで支えて頭が下がらないようにするといいです」など、修正するとよりよくなる部分を挙げていく。
8：講評後、ブーケをほどいて田野崎さんが手を加える。「同じ高さになってしまっている部分もあるので、横に流れたり、1本飛ばすものを作ったりするとナチュラルな印象になります」と、生徒が花を加えていった順、本数をもとに顔の向きや茎の曲がり、高低差をつけていく。
9：ブーケのなかで一番存在感のあるアナベル。孤立してみえないようにアナベルのなかにグリーンを絡めていくと一緒に成長したような自然な動きが出てくる。あまりにも密だと空気が通る感じがなくなるので、適当にガクを間引いて抜け感を出す。
10：田野崎さんが手直しをしたブーケ。直す前はグリーン全体に高さがついていたが、高くきれいに見せたい、間を埋めるなどグリーンのなかで優先順位をつけたことで、どこから見ても凹凸がついて空気感が出た。テーブルに飾ったときに結束部分に目線がいきやすいので茎が短い花は手元に加えている。

7

8

田野崎さんが手直しをしたブーケ

10

9

GOAL

さまざまな角度から完成したブーケを撮影。このあとは、もう一度ばらして生徒が組み直したり、自宅に持って帰って観察・組み直したり、と人によってさまざま。持ち帰る際はラッピングするが、ラッピングの仕方も悩んでいる人が多いので一緒に行う。

レッスンについて

1 コース・料金

体験レッスンは9,350円、プライベートレッスンは16,500円〜、ウェディングのプライベートレッスンは花材によるが44,000円〜。

※すべて税込。翌月のレッスン日をSNSに投稿しているのでこまめにチェックを。

2 プライベートレッスンの内容

そのときの旬の花を用意して、ラウンド（花とグリーンをこんもりと丸く束ねる）・ソバージュ（植物の持つ自然で美しいラインを活かす）どちらかのスタイルを選べるようになっています。今までやってきた得意なスタイルを聞いて、「ラウンドに近いソバージュにしましょう」のように大体の完成のアウトラインを伝えて花の個性とどの花と一緒に使うときれいかとかある程度伝えています。ラウンドからはじめる人が多いです。

3 レッスン中どういうところに注意している？

はじめに悩んでいることを聞くこともありますし、作っている様子を見ていると、苦手に思っているところがわかることもあります。その方の悪いほうのクセを克服できるような違う視点からのアドバイスを伝えると、一気にいいブーケになります。みなさん悩むところはバラバラなんですが、いくつかの傾向があるように思います。表情（花の向きが不得意）、形（高低差を思い切ってつけられない）、大きさ（きつく持ちすぎて小さくなる）に納得できない人に大きく分かれます。視点や作り方を少し変えるだけでブーケはグンとよくなるので、いつも思うように作れないけれど、どこを直したらいいのかわからないという方に理解してもらえるように具体的に伝えています。

4 レッスンで使う花材の選び方

ラウンドは小さい花だけだと作りにくいので時間内にできるように大きい花や形が作りやすいもので選んだり、ソバージュは背が高くなる枝とか、スタイルによって季節感を入れつつ作りやすい難しくなりすぎない内容にしています。リクエストがあればその人の好きな色合いを揃えています。表情のある花や、高さを出す勉強ができるように高く入れたほうがきれいな花を入れるほか、5、6色の色を使うこともあります。5色をどう配置するとモダンな感じになるかとか、色の勉強になるように考えています。グリーンは好きな人も多い反面、花のサポート役と思われがちです。グリーンがすてきだとどんな花でもすてきなブーケになるので、グリーンはすごくこだわっています。また、ちょっとしたアクセントになるおもしろくて雰囲気が出る花材は入れるようにしています。

5 どういう人におすすめ？

特に花の業界に入って2、3年の人。ある程度できるようになったけど、理想の形にならないという方におすすめです。勤めている花屋さんの仕入れによっては「葉物の種類がない」などレッスンと同様の花材を使えるわけではないですが、店にあるものでできること、悩みに合わせて代わりが利くことを伝えています。

 撮影／佐々木智幸

ガマズミ、ムラサキシキブ、アスター、オミナエシ

Flower & Green

5つのクラスで技術を身につけ思い通りに花を生ける

2009年にオープンした「フラコッタデコ」。当初は、少人数の生徒が参加する花を楽しむレッスン内容だったが、現在はレベルごとに5つのクラスにわかれカリキュラムも充実。楽しみつつも確実にテクニックが身につく内容は、季節の花を好きに飾れるようになりたいという人から花屋さんとして開業を目指す人まで幅広く支持されている。今回は、スクールに通って3年以上になるマスタークラス、スペシャリストクラスの授業に密着した。

1：マスタークラスのレッスンの様子。生徒の前でデモをしているのがフラコッタデコのオーナーの一人で、講師も務めるほりぐちあきこさん。
2：マスタークラスのレッスンで制作するのは、アシンメトリーの和モダンなアレンジメント。用意されている花材は、4種類のみだが、そこに生徒が1,860円分の花材を選んで加えてアレンジメントを完成させる。

floral design classes for florists
Part.2 Lesson

Fra cotta Deco
フラコッタデコ

東京都杉並区阿佐谷南2-11-9 TEL：03-6765-9512　FAX：03-6479-2673 営業時間：10:00〜18:00 営業日：金〜日曜日
お花屋さんのフラワースクール フラコッタデコ　@fra.cotta.deco　mail：info@fracotta-deco.com　https://fracotta-deco.com

1

1：はじめに講師のほりぐちさんによるデモ。アシンメトリーのアレンジメントなので、「花器の高さが1に対して、中心から極端に長いほうが3〜5。短い方は花器の高さが1に対して、中心から1から1.5まででストップ」など花を挿しながら全体の設定を伝える。枝物でアウトラインをとり、それに沿ってサブとなる葉物を入れる。「同じ色で統一してもいいし、シルバーリーフのオリーブ、ユーカリとかいれてもすてきだと思います。値段が安めのものをうまく使ってあげましょう」と花材の選び方のヒントも伝える。

2：デモでほりぐちさんが制作した作品。アウトラインをとった枝に花材を絡ませてアシンメトリーのラインを強調。メイン花材のオレンジ色に対して青や紫の花材を使って色を楽しんでいる。ソラナムは器のふちから垂らして、秋らしさやおいしさを演出した。

3

3：デモが終わると生徒はレッスンスペースの隣にある花店で花材を選ぶ。手にしているのは電卓と花材名と価格を書くシート。選んだものの合計金額を計算し、記入する。のちほど講師が一旦回収して使った花材名や金額が合っているかチェックする。自分がときめく花を選ぶのも重要だが、花持ちなども考慮しないといけない。生徒がレッスンのテーマに対して難しい花材を選んでいても生徒のレベルを見て注意はしない。

4：制作中の様子。マスタークラスは新しい形を覚える、自分で花選びができることをクリアできるように考えられている。テーマに合った花材とその花材の性質に合った生け方ができているかはアドバイスのポイント。

4

ほりぐちさんが
制作した作品

2

5

5：時間差でマスタークラスより1段階上のスペシャリストクラスも開始。テーマは、5,000円分の花を自由に選んで花の性質を生かした花束・フリースタイル。花器も花の性質が生きるものを選び、複数使ってもOK。生徒は一通りの花のデザインは学んでいるので花材選びも制作も迷いがない。

6：マスタークラスの制作が終了、一人ひとりの講評を行う。生徒は少し離れたところから作品を見て、なぜこの花を選んだか、苦戦したところなどを説明する。それを踏まえて、ほりぐちさんはテーマに沿った花材選び、形ができているかを講評、今後の課題も伝える。例えば、指定した金額がぴったりではなかった場合、予算内で買える別の花を提案したり、別の花材のほうが作品に合う場合は生徒に挿し直してもらい、違いを体感してもらっている。

6

7

7・8：講評後は作品を撮影し、自分でラッピング、掃除をしてクラスは終了。本来であれば、ティータイムとなるが、コロナの影響で今は行なっていない。

9：「どういう感じでいきますか？」とスペシャリストクラスの生徒に聞いていくほりぐちさん。生徒が最終的に表現したい形を聞いてそれに合う組み方や難しい花材の使い方を提案する。

10：スペシャリストクラスの講評。生徒がそれぞれ表現したかったポイント、見せ場を解説する。正しい組み方、目的とそれに合った花選びはできているので、制作した作品をもとに次への課題を伝える。

8

9

GOAL

スペシャリストクラスの講評

10

レッスンについて

1

レッスンの内容

ベーシック、キャリア、マスター、スペシャリストとクラスにわかれています。花を楽しみ、花活けの基礎を学ぶベーシックでは、アレンジメントやブーケのほかにリースやウェディングブーケ、花瓶活け、フラワーアクセサリー制作と幅広い内容です。概ね1年ごとにクラスアップして新しいフラワーデザインや花の選び方を学び、暮らしなかで季節の花を好きに飾れるまでを目指しています。花屋さんに勤務されている方はキャリアクラスからスタートする人もいます。スペシャリストクラスに在籍すると、デザイナー＆ティーチャークラスという短時間で予算内に収める商品を制作したり、市場で仕入れを行なったりする独立開業を意識した3ヵ月の短期集中クラスも受講できます。

2

進級の判断

1年ごとに進級できるかの見計らいをしています。出席回数を確認して、上のクラスを受けるにあたり学ぶ必要のある形を受講しているか、講師のデモを踏まえてその形を作れるようになっているかと制作時間をもとに、その生徒を受け持った複数の講師で進級できるか判断しています。上がれない場合は理由をきちんと説明します。進級を薦めても不安だからと、もう一度同じクラスを受ける方もいらっしゃいますし、すべてのクラスを経験してもう一度、基礎から学び直す方もいらっしゃいます。マスタークラス以降は実技のテスト、筆記テストもあります。

3

カリキュラム制作の苦労

それぞれのクラスで学ばないといけない項目は決まっています。でも、花材の出回り時期がその年によって変わるので、使いたい花材に合わせてカリキュラムを調整するのが大変です。スペシャリストコースはアンケートを取る場合もあり、リピートしたい、今後やってみたい内容を吸い上げたカリキュラムを作ることもあります。

4

レッスンで使う花材の選び方

店内は季節の花や枝物を入れつつ定番も置いています。今月は「お花選び強化月間」なのでブーケを作るのに使うかなと思って華やかなものを入れたり、持ちがいいものや持ちはよくなくてもボリュームをあるものなど、レッスンのテーマに沿うものを入れています。色もまんべんなく揃えています。

5

講師について

講師は6名で、多くがデザイナー＆ティーチャークラスを卒業しています。通常は店舗で商品作りやウェディングを担当しています。かつてスクール生だったからこそ生徒の気持ちがわかって、生徒からの信頼が厚いです。生徒の方は振替が自由にできますが、振替をしても同じ講師が担当することも多く継続的に見ています。代行となった場合は、事前に生徒の生け方の特徴を伝えたり、クラスが終わったあとに一人ひとりどうだったかの申し送りをしています。

6

生徒の傾向

プロになりたいと思ってはじめるというよりは、「家ですてきな花を飾りたい」という人が多いです。でも、レツスンを重ねるにつれて、お店で買った商品のような仕上がりになっていくので、友人にプレゼントしてすごく喜ばれたことをきっかけに楽しさにつながって長く続ける方が多いです。

7

スクール在籍中、卒業後のサポート

在籍中は、店内の花を10%オフで購入できたり、クラスで使った花器を1個100円で買い取ったりしています。また、ウェディングや母の日など現場研修も行なっています。クラスを終了して独立した方には、市場の人の紹介なども行なっていますが、さまざまな事情で仕入れができない方には花の代行仕入れや会場までの発送も行なっています。

8

コロナ禍でのレッスンはどうしている?

ズームを使ったオンラインレッスンをはじめました。花材を送ってデモをリアルタイムや後日見てから制作をして、写真を撮ってもらってそれにアドバイスをするという流れです。今はほぼ対面のレッスンですが、状況が変われば事前に予約でオンラインレッスンを併用できます。外に出られない今、SNS以外で何か発信できることがないかと思ってユーチューブもはじめました。自粛期間中に花を飾れなかった生徒の方が多かったようで、見て参考にしてやってみたというメールをもらったりもしました。

撮影／佐々木智幸

動画レッスンは花以外も大事

1

floral design classes for florists
Part. 3 Lesson

KACHA
カチャ

@furukawahiroyuki0912　https://www.youtube.com/channel/UC66j4xCV1uZtI71vPmJdB8g

「KACHA」の古川博行さんが毎月行なっているインスタライブでのレッスン。事前に参加したい人を募集し、ライブを見ながら一緒に作品を作れるように花材を送っている。コロナ禍で対面ではないレッスン方法を模索する花屋さんが増えるなか、動画レッスンやインスタライブをするなら何が必要？実際にどうやって配信している？どうしたら見てもらえる？といった疑問を古川さんに質問。普段行なっている配信の様子を見てみよう。

Flower & Green

2

ソリダゴ、キイチゴ'ベビーハンズ'、ユキヤナギ、ミシマサイコ、スターチス、ケイトウ、アジサイ、ラペイロージア

1：説明をいれながら30分くらいかけて花束をじっくり束ねる古川さん。難易度は、「今日初めて花を束ねる、という人に教えるくらいの感じにしています」。
2：作るのは秋めいた季節を感じるシャンペトルブーケ。インスタライブは制限時間が1時間なので、時間内に作れることを意識した作品にしている。

1：まずは必要な道具のゴミ袋、ハサミ、花バサミ、花器のほか、送った花と麻紐が手元にあるか確認。最初の10分は前回のライブできたコメントについて話したり、くだけた雰囲気。

2：送った花材名や特徴を説明。花材が手元にある視聴者にも下葉の処理を体験してもらうため半分ほど葉は残している。「持ち手のところに葉が残っていると潰れて痛みの原因になるので、迷った場合は取ってしまってください」など、リモートで細かく指導はできないため、迷って手が止まらないように指示を入れる。

手元をアップにして
わかりやすく

3：花束の場合、視聴者は手元を見たいので、古川さんがカメラの前へ移動して手元を見せている。手元を映すためにスタンドからカメラを外すのは、画面が動いて気持ち悪いので避けている。アレンジメントの場合は全体が見えていないと視聴者はわかりづらいので、古川さんが作品の後ろから花を挿すようにしている。

4：「ナチュラル感を出すには、高さを揃えず思い切って飛ばしてみてください。飛び出し過ぎかなと思ったりすると思うんですけど、飾ってみるとそんなこともないです」。画面を通すと立体感が伝わりにくいので口頭でしっかり補足する。手元ばかり見ていると花束が小さくなってしまうので、引いて全体も見せるようにしている。

5：後半になるにつれて、上から花束を見て、花材が少ないところや、色が偏っているところがないかを確認。シャンペトルは作り込まないほうがすてきなので、偏りがあれば手直しをしていく。

6：花器に生けて、完成。なるべく毎日水を替える、切り戻しを行うなど、長く楽しむ注意点を伝えて撮影は終了。

GOAL

野原から摘んできたようなイメージなのでグリーンが多めの花束。色を混ぜた方がシャンペトルらしい自然な雰囲気が出やすいので茶、紫、黄など複数の色を使ってこっくりとした色合いに。

動画レッスンについて

動画撮影に必要な道具は?

1

使っているのは、タブレット、タブレットスタンド（三脚タイプ）、撮影用ライト、ワイヤレスマイクです。携帯ではなくタブレットを使って撮影しているのは、流れてくるコメントを確認しやすいから。「声が聞こえない」といったコメントにも気づきやすくトラブルに対応しやすいです。マイクは部屋の大きさ、反響の仕方によってつけないこともあります。ライトは花に影ができるようだったら足して調整しています。サークルライトは局部的にものを照らすので動画レッスンの撮影には適さなかったです。

動画レッスンの配信日時は?

日曜日の21:00です。日曜日にしているのは金曜日に仕入れをして、土日のどちらかで生徒が花を受け取れるようにしたいから。生徒には主婦の人も多いので食事が終わって自分の時間がとれる時間帯にはじめています。

2

3

動画レッスンに参加するのはどんな人?

近畿圏の人は対面レッスンを受けたいという人が多いのですが、少し離れている県、東京のような遠方から対面レッスンには参加しにくい人が多いです。普段レッスンを受けている人は直接会えるので動画レッスンも受けるというのはあまりないです。

4

SNSでの告知はどのタイミングでしている?

参加を呼びかける告知は1ヶ月くらい前に行って、その週の頭くらいで締め切ります。だいたい25～30名が参加しています。ライブの告知は前日、当日のストーリーにアップ。ストーリーは2,000人くらいが見ていて、ライブ自体は150人くらいが見ています。ほかのレッスンもそうですが、募集を開始した次の日までが勝負となります。

視聴者を獲得するためにしていること

動画レッスンする人で不特定多数に公開するか、限定的に公開するか分かれます。僕はコメントが入って賑やかになるのと、見ている人のなかで次は参加しようと思う人もいると考えて公開にしています。1年とか継続すればもっと増えるかなという手応えはあります。

5

6

視聴者は何を見ているのか

視聴者は花だけではなく作る人も見ているというのは絶対にあって、服装とか髪型とかちゃんとしないといけないと思っています。ただレッスンを見たいだけならずっと手元だけ映せばよくて、その人がやっているからこそ意味があります。それに恥じないようにしないと、とは思います。

まじめに束ねる以外の部分も大事

7

インスタライブは21:00にスタートしているのですが、実際レッスンがはじまるのは10分後くらいからです。インスタライブの場合、試し撮りはできないので、どのくらいの声でやったら視聴者にどのくらいで聞こえているかはまったくわかりません。まず音声の聞こえ具合を確認しています。また、すぐに参加できる人もいれば、できない人もいるので調整する時間にもなっています。レッスンだけでなく、こういうやりとりを楽しんでコメントをくれる人もいるんですが、まじめなだけでなく、くだけた雰囲気を出すのは回数を重ねないと難しいです。

動画レッスンをはじめる前にやったこと

ライブレッスンを本格的に取り組む前に練習でブーケを束ねるだけのインスタライブを行いました。それで、だいたいの視聴者数をはかりました。同じようにインスタで練習してみて、もしあまりに視聴者が少なかったら、もう少し様子を見たほうがいいかもしれません。1回目のときは生徒や視聴者がすごく少なかったらどうしようと不安になりました。少なかったとしても告知をしているので止めることはできない。自分のモチベーションとの戦いですね。

8

9

動画レッスンをやってみたい、と考えている花屋さんにアドバイス

そのお花屋さんが何を売りにしているかでだいぶ変わってくると思うので、人それぞれだと思うんですよね。とりあえず一回やってみてコメントを見て調整していく、というやり方がいいと思います。一番はじめは、カメラに向かって話すというのが慣れていないので、早く慣れた方がいいです。どの辺りの層が自分のお客様なのかというのを知るのも大事です。また、花を見てお客様が来てくれるので、僕はインスタには花しか載せないと決めています。普段からすてきな写真をあげ続けていたほうが見ている人のイメージが膨らみます。

1

自分らしい花いけを学ぶ

「学んでみたいが、敷居が高そう」、「経験してみたいが、どこの流派や教室がいいのか」といけばなに思いを持ちながらも、二の足を踏んでいる人は多い。そんないけばなへの入り口として参加しやすいのが、花道家・上野雄次さんの花いけ教室。都内では毎月3日間ほど開催。決まったカリキュラムや免状もなく、生ける花も器も自分で選べる、型にはまっていないフリースタイル。今回は、東京・恵比寿のアトリエギャラリー「DEN+(デンタス)」で開催された教室に密着。

1：日々の生活で、歌が口から自然とこぼれるように、花を生けたくなったときに気軽に生けられるようになる教室でありたいと上野さん。
2：生け終わると、上野さんのチェックが入る。花材の選び方、使い方、器、飾る場所とのバランスなど全体を確認しながら、手直しを進めていく。花を通して見せたいこと、伝えたいことが上野さんの言葉とともにより明確になっていく。

floral design classes for florists
Part. 4 Lesson

2

上野雄次

@ug_ueno 著書「花いけの勘どころー器と色と光でつくる、季節のいけばな」(小社刊)も好評発売中。

1

2

3

1：使用する花は上野さんがすべて用意し、生徒が自由に選ぶ。花材の種類はさまざま。この日は、大きな枝物や流木などは外に置かれていた。
2：いけばなとはいえ、和花に限らず洋花もたくさん。写真はあまりにもかわいいので、最近よく仕入れているという極小輪のガーベラ。
3：生ける器は上野さんが持参した器や教室となる会場にある器から、生徒が好きなものを選ぶ。写真は上野さんが持参したさまざまな器。作家物から、ペットボトルまでと幅広い。
4・5・6：今回の会場であるデンタスは、ガラス作家の奥野美果さんのアトリエ兼ギャラリー。この会場で花いけをする醍醐味は、奥野さんのガラス作品も使えること。

ガラス作家
奥野美果さんの作品

4

5

6

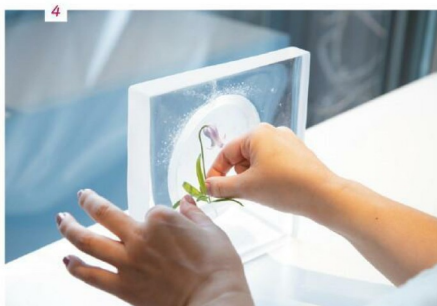
START

1

2

3

1：簡単な自己紹介の後、上野さんからレッスンの流れの説明。器、花の選び方、生けるときに器には水を必ず入れること。飾る場所、光の向きについても言及する。生けて飾るスペースは、壁際に台のある6カ所から選ぶことで、花の後ろに背景ができる、それにより花を見る方向が限定され、表現したいことや伝えたいことが明確になる。
2：器と花選びの様子。どちらもじっくり好きなものを選ぶ時間。
3・4・5：器、花、生ける場所が決まったら、いよいよ、花いけスタート。各々のペースで進めていく。

5

4

6

生徒さんの作品が
ひとまず完成！

7

6：生徒の一人が生け終わり。生け終わったら、上野さんに声を掛ける仕組みだ。それまでは上野さんは沈黙を保っている。
7：上野さんは作品をじっくり見てから、飾る場所、器、花、それぞれどの順番で選びましたか？その理由は？という問い。生け手が花いけに込めた思いをじっくり聞いてから、作品のチェックへ。

floral design classes for florists Part. 4 Lesson

8

8：珍しいのでトリカブトを選んだという生徒に、もっと花を際立たせるようにと説明しながら手直し中。一文字の仕掛け方やラインをきれいに見せるテクニックを丁寧に教えながら、器、花、背景、光、重力との関係を説明。生徒は時間の許す限り、何点でも生けられる。2時間の間、ほとんどの人が3点ほど生ける。
9：上野さんの手直しが入った様子。当初よりも、トリカブトの花色、そしてラインが際立つように変化した。

GOAL

9

レッスンについて

1

開催日・料金

定期的なレッスンは、世田谷区深沢の「jikonka」にて、第3週の金～日曜日に行なっています（開催しない月もある）。「デンタス」では不定期で年に数回の開催です。レッスン内容は2種類あり、今回のレッスンは5,000円、山採りの枝物などを使い、私自身も生けるレッスンは15,000円で、どちらも花材代は使用した分だけいただいています。東京以外の都市や台湾、中国での出張レッスンも行なっています。

2

1回ごとのレッスンにしている理由は？

自分自身が縛られるのが嫌というのが大きな理由ですね。いつも同じ人が集まり定期的に開催となると、人間関係がどうしても生まれてしまう。花を生ける、学ぶという純粋な思いよりも、そちらの影響が大きくなることもあります。だからこそ、花を生けたくなったときに自発的に参加できるスタイルにしています。

3

参加者にはどんな人が多いですか？

やはり日本文化であるいけばなに触れてみたいという人が多いですね。なぜか、最近は花屋さんで働いている人の参加が増えています。

 撮影／佐々木智幸　撮影協力／DEN+ http://www.micaglass.com/

1

アンナサッカ
東京スタジオ

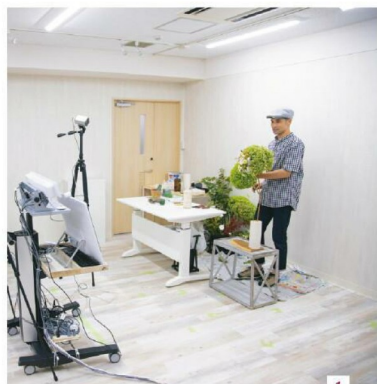
知識ゼロでもできる！ 機材も揃う動画撮影スタジオ

「アクアフォーム」やプリザーブド・ラッピング製品など、花にまつわる資材を幅広く製造・販売する松村工芸。7月末に「アンナサッカ東京」を両国に移転し、動画撮影とライブ配信ができるレンタルスペースを新設した。カメラやマイクなど高性能な機材を備え、クリアな画像と音声で動画を配信できる。機器の操作が苦手な人でも、サポートスタッフが常駐しているため、花材と道具を持ち込むだけでオンラインレッスンが可能に。配信システム「Cisco Webex」を使っており、参加者と直接やりとりできるのもうれしい。動画配信の需要が高まる今、気軽に活用できるスタジオだ。

1：ウェブサイト「植物生活」の好評連載「しろくまさんといっしょ」のため、しろくま生花店の細根誠さんがオンラインレッスンを行なった。テーマは「人気のアナベルを生かすアレンジレッスン」。事前に参加者を募り、URLなどアクセス方法をメールにて案内。パソコン、スマートフォン、タブレットで指定の時間にアクセスして受講する仕組み。写真のAスタジオにはイスとテーブルがあるので、その場で受講することも。 **2**：JR両国駅から徒歩2分という好立地。

○東京都墨田区両国3-22-6 雷電ビル1F・2F
○TEL：03-5638-2201 FAX：03-5638-2202（TEL・FAXは松村工芸東京支店と同回線）
○営業時間：10:00〜17:30（スタジオ利用〜17:00） ○定休日：日曜日、祝日（土曜日は不定休）
annasakka.studio　@annasakka.studio
https://mkaa.co.jp/annasakka-studio

floral design classes for florists Part.5 Lesson

2

1

2

アナベル、トルコギキョウ'ハピネスホワイト'、ハマナデシコ、チョウジソウ(葉)、ユーパトリウム'チョコレート'、スターチス'ソロモン'、トウガラシ、クレマチス'アルバ'、エキナセア、エノコログサ

Flower & Green

完成したアレンジメント

4

3

1・2:カメラを2台常設しており、手元と正面の画像を同時に配信。モニターも正面とサイドに2台あるから、画面に映る様子を見ながら撮影できる。
3:スタジオのスタッフが撮影も配信も行うので、ひとりでも動画配信が可能。
4:細根さんがオンラインレッスンで制作したアレンジメント。球形のフローラルフォームをつけた太めのワイヤーをアナベルの茎に通し、花器に詰めた発砲スチロールに挿して立てる。アナベルの丸い形を再現するようにバランスよく花材を挿していく。足元にエノコログサも加え、化粧石を敷いて完成。
5・6:スタジオのほか、従来通り物販も行なっており、商品サンプル展示もある。

5

6

スタジオについて

アンナサッカ東京スタジオは会員制のため、利用するには会員登録が必要。会員登録は松村工芸ウェブサイト(https://mkaa.co.jp/)より。料金や申し込み方法などの詳細は店舗公式ウェブサイトに掲載(近日公開予定)。

 撮影/佐々木智幸

憧れのバラのアーチが作れる

つるバラの 選び方・育て方・仕立て方

京成バラ園ヘッドガーデナーである著者がバラに関する知識と経験を活かして、つるバラを庭で楽しむコツを教える。アーチ、フェンス、オベリスク、トレリスといった代表的な構造物を例につるバラの育成法を紹介。また、構造物に合わせた失敗しないつるバラの品種の選び方や、つるバラに合う宿根草の図鑑、仕立て方に関するちょっとした疑問点などを詳しく掲載する。

Point

仕立ての見栄えを左右する剪定・誘引のプロセスを細かく写真で紹介

長い年月かけて使える構造物をプロの目からみてピックアップ

長くバラのつる仕立てが楽しめるバラの品種や選び方を学べる

植物全般の造詣も深い著者による花の相談室も

村上 敏［著］ ◎定価：本体2,000円＋税 ◎B5変形判 257×190mm オールカラー 144ページ ◎ISBN978-4-416-52000-0
全国の書店、もしくは弊社HPからもお求めいただけます。問：誠文堂新光社 TEL：03-5805-7285 https://www.seibundo-shinkosha.net/

フロリストマイスターが教える

花の造形理論
基礎レッスン

お客様の要望や、自分の求めるテーマに合った造形を作り出すためには、植物をどのように見て、何を感じ取り、どのような知識が必要なのか。本書では、まだ歴史が浅く、難しいと思われがちな「フラワーデザインを生み出すための造形理論」を、自然や植物の写真と実用的な作例とともに解説する。自然の構造や植物の造形を知ることは、商品や作品作りの第一歩。初心者から腕を磨きたいと考える中・上級者まで、花の仕事に携わる幅広い層に役立つ1冊となっている。

作品や商品作りのヒントを得るための自然観祭の意味と方法を紹介。

植物の動きや色、質感、キャラクターなど植物の個性の捉え方について学ぶ。

グルーピング、シンメトリー・アシンメトリーなどフラワーデザインのテクニックや構成について説明しながら、植物材料の個性をどう表現して造形を作り上げるかを考える。

アレンジメントやリース、花束などの実際の商品にどう落とし込むかを解説。

完成した作品をお客様に言葉で伝えるプレゼンテーションについて言及。

[Profile]　橋口 学　ドイツ国家認定フロリストマイスター、hashiguchi arrangements代表。1997年渡独。ドイツ国立花き芸術専門学校ヴァイエンシュテファンに入学し、卒業と同時にドイツ国家認定フロリストマイスターとなる。その後ミュンヘンの花店、ブルーメン・エルスドルファー勤務を経て、2006 年に帰国。神奈川県秦野市にハシグチアレンジメンツを開講。著書に『フローリストマイスターが教える 初心者からわかる 花束作り基礎レッスン』『季節のフラワーリース基礎レッスン』(ともに誠文堂新光社)。

橋口 学［著］　◎定価：本体2,600円+税　◎AB判 オールカラー 144ページ　◎ISBN978-4-416-62028-1
全国の書店、もしくは弊社HPからもお求めいただけます。　問：誠文堂新光社　TEL：03-5800-3616　https://www.seibundo-shinkosha.net/

花束&

Bouquets & Arrangements

シチュエーションと相手に合わせて

芸術の秋に贈る

バレエの発表会を終えた小さな女の子が初めて受け取る花束は、バレリーナが身につけるチュチュをイメージして制作。真っ白でかわいらしく軽やかな雰囲気ながら、子供がぶんぶん振り回しても崩れないよう、リボンをしっかりと巻き上げている。ファーストブーケを贈られたときのドキドキした気持ちを、花のイメージそのままにふんわりと覚えてくれるよう願いを込めて……。

Flower & Green ——

バラ'アヴァランチェ+'、スカビオサ'アルバ'、シンフォリカルポス'マジカルアバランチェ'、セダム、オキシペタルム'マーブルホワイト'、アゲラタム、ダスティーミラー

制作：

大松和子

CHIC FLOWERSTAND

[scene] ——— Ballet

バレエの発表会

習いごとの発表会や文化祭などで、
これまでの成果をお披露目する機会が多い秋。
そんなとき、年齢・性別問わず、花をもらうとうれしいもの。
シチュエーションや贈る相手を想定してお願いした
花束とアレンジメントを紹介する。

[scene] ……… Ballet

アレンジメント

20代女性のバレリーナに贈る、躍動感と爽やかさを感じさせるアレンジメント。ゆるやかにグルーピングした花をグリーンでつなぎ、ナチュラルテイストにまとめている。チョコレートコスモスが大人っぽさと秋らしさをプラス。

Flower & Green ——

バラ（リテラチュール、ピース）、シンフォリカルポス、リキュウソウ、グンバイナズナ、コアラファーン、チョウジソウ、スカビオサ'ステルンクーゲル'、ノイバラ、ケイトウ、パピルス、チョコレートコスモス

制作：
牧下玲子
MAGGIE B

[scene] .... Piano

ピアノの発表会

ピアノの発表会で女の子が喜ぶよう、甘い香りがするツルバキアと和バラを使用。コスモスやカーネーションといったわかりやすい花をメインにしつつ、少し大人っぽい色合いを意識している。グリーンはさりげなく用い、花を存分に楽しめる愛らしいブーケ。

Flower & Green ——

ダリア'ラ・ラ・ラ'、バラ（ソルファ、ほか1種）、コスモス'ダブルクリック'、カーネーション、アスチルベ'エリカ'、ツルバキア、アランダ'バンコクビューティ'、クレマチスシード

制作：

上田絹子
JUURI FLOWER

[scene] ………… Piano

制作：
michiko

男の子がもらったときに笑顔になり、発表会の緊張がほぐれるような遊び心溢れるアレンジメント。さまざまな音が弾むようなイメージの花を選び、ユーカリの葉にビーズを縫いつけている。ラメが入った糸は見えてもかわいい。

Flower & Green ――

ダリア'ファインイエロー'、ルドベキア'ヘンリーアイラーズ'、クレマチス'ピエロ'、ジニア'ペルシャンカーペット'、ユーカリ・ポポラス、ハナナス

ポップな作風のファッションブランドの展示会で、若い女性のデザイナーに贈るアレンジメント。カラフルなイメージながら、秋らしさも感じられるような少しくすんだトーンの色も合わせている。ヘクソカズラの動きがポイント。

Flower & Green ——

ダリア（ルル、ほか1種）、ケイトウ、ダンギク、カーネーション'マスタード'、エケベリア、ヘクソカズラ、アセビ

制作：

今泉冴也香
MY'S

[scene] ………… Fashion

ファッションブランドの展示会

シックなファッションを得意とする男性デザイナーのために制作したアレンジメント。花材を秋冬にふさわしい色みでまとめ、重厚感のあるかっこいい仕上がりにした。

Flower & Green ——

ダリア'黒蝶'、カラー'ホットチョコレート'、アンスリウム'ネロ'、トウガラシ'コニカルブラック'、アジサイ、ブラックリーフ、ミレット'パープルマジェスティ'、フィロデンドロン'レッドダッチェス'、アルテルナンテラ、ドラセナ・コンパクタ、エリンジウム、グレープアイビー

制作：

大松和子
CHIC FLOWERSTAND

制作：
牧下玲子
MAGGIE B

[scene] ……… Art

絵画展

趣味で習っている絵画の展覧会を迎えた友人に贈る花をイメージ。60代の女性を想定し、深まりゆく秋を表現した花束とシックで華やかな人物像を重ねている。

Flower & Green ——

アガパンサス、クロコスミア、ノラニンジン、フレボディウム、ダリア2種、アスチルベシード、ヴェルノニア、バーガーブッシュ、ヒエ'フレイクチョコラータ'

絵を描いている60代男性のために、受付などに置きやすく、上から見てもきれいなグリーン一色のアレンジメントを制作。アジサイなどの身近な花に、フウセントウワタやタケニグサといった個性的な植物を合わせ、表情豊かに仕上げている。

Flower & Green ——

フウセントウワタ、アジサイ'ベレナグリーン'、カーネーション、デンファレ'レモングリーン'、ツルバキア、タケニグサ、クレマチスシード、ユキヤナギ

制作：

上田絹子

JUURI FLOWER

[scene] Dance

ダンスの発表会

制作：
今泉冴也香
MY'S

ヒップホップダンスを披露してくれた男の子に、動きがあってかっこいい花束を。小学生でも持ちやすいように少し小ぶりにし、いろいろな形や質感を楽しめる花材を組み合わせた。

Flower & Green ——

アンスリウム'ショータイム'、ヘリコニア、レナンセラ、ダリア、グレビレア'アイバンホー'、ドラセナ'ソングオブジャマイカ'

ダンスで文化祭を盛り上げた男子高校生に喜んでもらえるよう、楽しい花材や色み、バランス感にこだわった。花だけでなくレコードやカセットテープを組み合わせたユニークなブーケ。

Flower & Green ——

ジニア、アマランサス'ハンギングレッド'、セッカケイトウ、トウガラシ'ブラックパール'、アカトウガラシ、カラテア'インシグニス'、ビバーナム・コンパクタ、カラー、チョコレートコスモス

制作：
小嶋悠（はるか）
ハルカゼフラワー

[scene] .... Dance

フラの発表会のあと、秋の夜に自宅で花を見ながらゆっくりとチルアウトできるような色や香りをセレクト。ハワイを象徴するプルメリアは生花では使いにくい花材だが、ピックに花を入れることで数日ながら楽しめる。プルメリアのあとは花持ちのよいコチョウラン'マザーチーク'を。

Flower & Green ——

プルメリア、コチョウラン'マザーチーク'、オンシジウム、パープルファウンテングラス、ケイトウ、ドラセナ

制作：

michiko

[scene] ········· Hula

フラの発表会

[scene] ……… Hula

フラを習う活発な女性に似合う、華やかで迫力あるアレンジメント。南国らしいブーゲンビリアは少しバランスが崩れるように配置し、踊っているような動きを演出した。ハワイの葉ラウアエに似たフレボディウムがポイントになっている。

Flower & Green ——

ブーゲンビリア、ヘリコニア、ビバーナム・コンパクタ、ミニパイン、モカラ'アリスタ'、セルリア(ブラッシングブライト、ブリティピンク)、セッカケイトウ、フレボディウム、リグストラム'シルバープリベット'

制作：

小嶋誉由（たかゆき）

ハルカゼフラワー

Shop Data ………… [P.70〜84の作品を制作した花店&フラワーデザイナー]

ショップデータ

大松和子 ……… CHIC FLOWERSTAND

data

神奈川県鎌倉市御成町9-42
TEL&FAX:0467-33-5838
CHIC flower stand
@chic.flowerstand
mail:info@chic-flowerstand.com
https://chic-flowerstand.com

P.70

P.76-77

牧下玲子 ……… MAGGIE B

data

神奈川県中郡大磯町
maggiebworks
@maggiebworks
mail:maggieb@mh.scn-net.ne.jp
http://maggiebworks.com

P.71

P.78

上田絹子 ……… JUURI FLOWER

data

東京都大田区蒲田3-17-12 東田ビル1F
TEL:090-3591-0215
juuri flower
@juuri_flower
mail:hanaya@juuri.info

P.72-73

P.79

michiko

data

@flower_michiko
mail:m@michiko-hana.com
http://www.michiko-hana.com

P.74

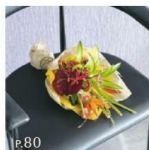
P.82-83

今泉冴也香 ……… MY'S

data

@imaizumisayaka
mail:info@imaizumisayaka.com
http://imaizumisayaka.com

P.75

P.80

小嶋悠、小嶋誉由 ……… ハルカゼフラワー
(P.81)　(P.84)

data

東京都港区新橋5-19-15 1F
TEL&FAX:03-6450-1823
ハルカゼフラワー
@harukazeflower
mail:harukazeflower@gmail.com
https://www.harukazeflower.com

P.81

P.84

思いのままに、シックな花合わせ

岡本典子の秋の花

ドラマチックながら繊細さを併せもつ独特なフラワーデザインが人気で、イベントやメディア、ディスプレーなど幅広く活躍する岡本典子。今年9月に小社から『花生師 岡本典子の花仕事』を上梓した。季節ごとに構成され、「実りの秋は、四季を通じて最も気持ちが高まる季節」と綴られた本書から、秋の作品を一部紹介する。

黒いパフィオペディルムとアルテルナンテラが手に入ったので、「黒」をテーマに花を束ねる。花の黒は、絵の具の黒とは違って赤みがかったニュアンスを持っているのが毒っぽい。それらの色だけを集めて、「花の黒」を強調する作品に仕上げた。アフリカンブルーバジルには緑の色味があるが、それを加えたことで全体の黒が際立ち、茎の色もみずみずしくなった。

Flower & Green

パフィオペディルム、アルテルナンテラ、サラセニア'ドラゴン'、アフリカンブルーバジル、チョコレートコスモス

ヘクソカズラはにぶい色の実と、蔓の動きを見せたい。普通ならば切って捨ててしまいそうな蔓の部分も使いながら、あばれているようなリースを作りたくなった。リースは同じリズムで巻かないと、同じ太さにはならないが、テンションを変えながら感覚的に形作っていく。あまりにも美しいフィリカ・プルモーサや、ゆるい咲き方のアジサイのおかげもあって、なんともいえない色香漂う仕上がりに。

Flower & Green

ヘクソカズラ、フィリカ・プルモーサ、アジサイ、グローイングアルプスクラシック、ビバーナム・ティナス

アジサイ3輪でボリュームを出し、ワイルドなブーケに。このまとまりのなかに、青みのグラデーションを作ることを意識しながら花を選んでいった。ユーパトリウムは、茶色の枝に白い花が咲いていて、不思議なニュアンスがある。その茶色みとリンクするようなオヤマボクチが、アジサイの青みやダリアのピンクを引き立ててくれた。

Flower & Green

アジサイ、ダリア‘ベアレディ’、アストランチア‘スターオブビリオン’、オヤマボクチ、クレマチス‘ミセスモモエ’、ユーパトリウム‘チョコレート’、ユーカリ（細葉）

写真／砺波周平　文／石川理恵（P.87〜89）

79作品を収録した
人気フローリスト初の作例集

花生師(はないけし) 岡本典子の花仕事

花選びの視点とデザインを考える

ただ美しいだけではなく、独特のニュアンスや世界観のあるフラワーデザインで多くの人を魅了するTiny N・岡本典子。イベントやメディア、店舗ディスプレーなど幅広く活躍している。自身初となる作例集では、アレンジメントやブーケ、リース、スワッグなど約80点を季節ごとに掲載し、各作品のデザイン意図を解説。花業界を目指す人をはじめ、花をもっと知りたい人に役立つ内容となっている。写真はどれも美しく、眺めるだけでも心を豊かにしてくれる写真集のよう。植物を愛する誰もが楽しめる一冊。

左上／花を選ぶ視点を「複色」「質感」といった7つの言葉で表現し、該当する花材を写真入りで解説。 右上／美しいビジュアルが連なる写真集のような構成。ページをめくるたびに花の魅力を堪能できる。 左下／全作品にデザインの解説と使用花材名を載せている。写真付きで照合しやすい。 右下／巻末にはブーケ、アレンジメント、スワッグ、リースなどの作り方を紹介し、参考にできる。

岡本典子 *Noriko Okamoto*

花生師、TinyN主宰。恵泉女学園短期大学園芸生活学科卒業後、イギリスへ花留学。花コンペティションにて多数の優勝や入賞を果たすほか、国家技能資格最上級を取得。ゴトウフローリストなどでの勤務、フラワーショップ店主を経て、2015年にアトリエTiny N Abriを三軒茶屋にオープン。TV、雑誌、広告などのメディアや展示会、パーティ装花、店舗ディスプレーのほか、講師やイベント出店など多方面で活躍する。著書に『花生活のたね』(エクスナレッジ)、『はじめてのスワッグ』(文化出版局)がある。

◎岡本典子[著] ◎定価:本体2,500円+税 ◎B5変型判／オールカラー208ページ ◎ISBN978-4-416-52021-5
◎全国の書店、もしくは弊社HPからもお求めいただけます。問:誠文堂新光社 TEL:03-5805-7285 https://www.seibundo-shinkosha.net/

日本には美しい四季の色と自然のこまやかさを
言葉で表現した72の季節がある。
組色とは2つ以上の色による調和表現法のこと。

第五十八候

虹蔵不見

にじかくれてみえず

色のことば

秋深き隣は何をする人ぞ

11月23日から27日頃は「虹蔵不見（にじかくれてみえず）」。ひんやりとした風の冷たさに呼応するかのように陽射しも弱く曇りがちの日が続きます。五十八候には、この季節になると、もう虹を見ることもほとんどなくなってしまうのだな、という深秋（しんしゅう）の詠嘆（えいたん）と哀愁が表れています。空気が澄んで明るい十五候の「虹始見（にじはじめてあらわる）」と対をなす、春秋それぞれの実感が伝わる言葉です。「秋深き隣は何をする人ぞ」は芭蕉の最晩年の句ですが、やがて来る冬を前に隣の気配に思いを馳せる孤愁が伝わってきます。ことりとも音がしない隣人との連帯感と寂寞（せきばく）とした思い。ともにひとりいる共感で拡がりが生まれるのも晩秋の季節感覚でしょう。

色のかたち

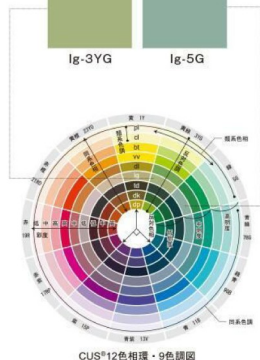
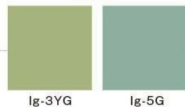
暮秋の灰緑

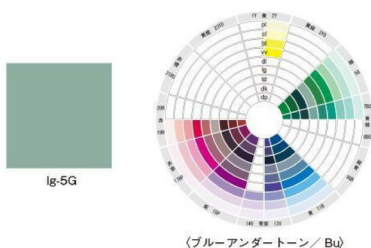
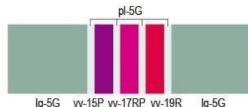
花色／ラムズイヤー（英名 子羊の耳、和名 ワタチョロギ）
花人／松本邦子・上田裕子
撮影／穂田 悟

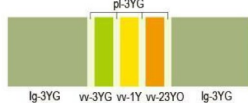
旬の色

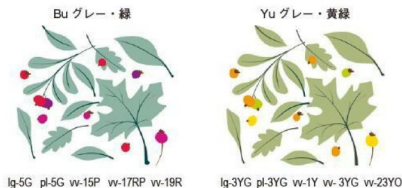
lg-3YG　lg-5G

CUS®12色相環・9色調図

Wt

色とアンダートーン配色

色彩の配色は、赤、青、黄などの色相配色、明度、彩度による色調配色
Bu、Yuで考えるアンダートーン配色があり、配色調和の基本は三属性とアンダートーンで決まります。

●Buグレー・緑

ブルーアンダートーン(Bu)の緑は、5Gと青緑の7GBです。青みがふくまれた緑と調和するのは、中性の紫、華やかな赤紫と赤、落ち着いたエンジ色などです。植物の緑は意識するまでもない定番色ですが、色調を工夫することでアレンジメントや花束の表情を豊かにし、個性を主張することができます。

●Yuグレー・黄緑

イエローアンダートーン(Yu)の緑は、3YGの黄緑と8BGの青緑です。特に黄緑は、新緑の頃の若々しい季節感を伝えて重宝する色ですが、この新芽と結びつく黄緑も色調によってモスグリーン、オリーブグリーンと呼び名が変わります。色調は違ってもアンダートーンが同じ赤橙、黄橙、黄による配色でまとまりが生まれます。

●アンダートーン配色の特徴

ライトグレイッシュ(lg)は、純色にグレーを加えた濁色です。高明度の明清色と低明度の暗清色の中間にあって、渋さと上品さが伝わる色調なのでラッピングペーパーやリボンの色使い、また、葉物の緑に活用して、都会的なモダンさを盛り込むことができます。鮮やかな赤、赤紫、橙をアクセントカラーにした人目を引く配色でスタイリッシュな大人の個性を表現しましょう。

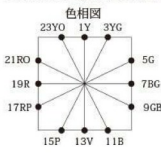
ヨシタミチコ
Michiko Yoshita

1988年㈱カラースペース・ワム設立。商品、建造物、フラワービジネスの色彩提案を行い、色彩のプロを育成するカラリストスクール・ワムICI（TEL.03-3406-9181）代表として、後進の指導にあたっている。主な著書に『ヨシタミチコの色彩術』『色彩のプロを目指すあなたに　色の仕事のすべて』『パーソナルカラー配色ブック』『花色カラーセラピー』（以上小社刊）など多数。フラワーデコレーター協会理事長（TEL.03-5391-1831）

CUS®表色系は配色調和を効率よく実現するための表示システム。
CUS®はColor Undertone System＝カラーアンダートーンシステムの略で、色を12の色相と基本的な9の色調の2つの属性でとらえ、色みを持たない白、灰、黒の無彩色は5段階で表記している。

色相図

色調図

明度＼彩度	低	中	高
高	pl	cl	bt
中	lg	dl	vv
低	td	dk	dp

・優しい……pl
・すっきりした……cl
・明るい……bt
・鮮やかな……vv
・地味な……dl
・薄い灰みの……lg
・とても暗い……td
・暗い……dk
・濃い……dp

アイデアで飾るクリスマスの花
一束ずつゲストへのプレゼントに

洒落たピンクのローズに、ふわふわな白いススキとプラチナ色のリーフを組合せて、小さな花束をたくさんつくりました。ガラスの器に木の実と一緒に盛り込むとボリュームのあるアレンジが完成です。

主な使用素材 ローズ・かのん・ナチュレ・アシッドピンク、ローズ・かのん、ローズいずみ、ビビアン、マジョリカ, 各ローズのクラーレットピンク、ススキ・白、フーセンポピー・オフホワイト、ヒイラギモクセイ・プラチナ、ピスタチアリーフ・プラチナ、ほか

素材にクローズアップ　Close up! Materials

・白素材
植物を漂白加工したものです。落ち着きのあるナチュラルカラーとはひと味違って、フォルムの面白さに再注目できます。さまざまな場面に使えて，デザインの幅が広がります。
・ペイント素材・プラチナ
温かみのある輝きが特徴のプラチナ色にペイントした素材です。クリスマスだけでなく、日常のギフトに使うと豪華さや華やかさを演出できます。

ススキ・白、ヒイラギモクセイ・プラチナ、ピスタチアリーフ・プラチナ

おすすめ！ プリザーブド　Recommend! Preserved

新色の落ち着きのあるピンク色のローズを、サイズや花姿の違う種類別に集めました。大小組み合わせて使うと、より自然な表現ができます。

左：マジョリカ（平たい花姿）、右上から：ローズかのん・クラーレットピンク、ローズ・かのん・ナチュレ・アシッドピンク、ローズ・いずみ・クラーレットピンク、ビビアン・クラーレットピンク

・簡単につくれる小さな花束（右のアレンジの単品）
ふわっとした白いススキの穂で丈を出して、ローズを一輪（ときには大小一輪ずつ）とリーフとアジサイを根元に小さく束ねます。ステムはやや長く残し、リボンで巻き上げて仕上げます。素材やリボンはお好みで、表情が変わります。

解説／国田あつ子 Atsuko Kunida

マミフラワーデザインスクールで学ぶ。スクール登録講師。生活の中で生かす花をテーマにデザイン制作、指導活動。フラワー関連企業の販売促進に携わる。現在、大地農園のアドバイザー。

この作品は株式会社 大地農園の商品を使用しています。　http://www.ohchi-n.co.jp

資材提供／株式会社 大地農園　構成／国田あつ子　撮影／日下部健史

植物生活通信

花を楽しむためのウェブサイト「植物生活」が
毎月おすすめするピックアップネタをご紹介。

TOPICS BOTANICAL PHOTO AWARDの受賞作品発表

最優秀賞
制作／VOICE OF PLANTS

ウェブサイト植物生活で、さまざまな表現者が投稿している「植物風景」写真。その中で、植物の魅力をさまざまな視点から表現するような写真作品を募集。応募作品の中から最優秀賞1名、優秀賞数名を選出した。今回の作品テーマは「フラワーリース」。テーマの解釈は自由として、さまざまな写真が投稿された。有効応募総数280件から最優秀賞と優秀賞を選出。選出したのは植物生活編集部、そしてフォトグラファーなど3名による無記名投票による審査。最優秀賞・優秀賞の人には商品等が与えられる。受賞作品のそれぞれの講評など、詳細は植物生活へ。
https://shokubutsuseikatsu.jp

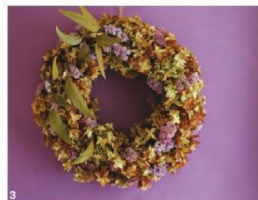
1

2

3

4

5

6

審査総評

フラワーリースは形も個性も幅広くどれも素晴らしい作品でありながら、一方、どれも決め手に欠くという側面もあるため、審査もかなり難しく、一時は最優秀賞該当なしも考えられました。しかしながら、応募されたさまざまな作品から、最優秀賞は「原点回帰」というようなクラシカルなリースで仕上げたVOICE OF PLANTSさんの作品が選出されました。色合いのバランスや大小それぞれのバラのグラデーションのある配置などが効果的にデザインされ、写真もクラシカルにまとめられている点が評価されました。各作品の審査コメントと開催中のフォトアワードテーマの発表はウェブでご覧ください。

優秀賞

制作
1 kiff
2 アトリエシェリ
3 mayu32fd
4 flower shop parc
5 plus F.
6 Blue Blue Flower（ブルーブルーフラワー）
7 ルフルロン
8 fleur
9 nico ニコ

7

8

9

植物生活

各作品の審査コメントはウェブサイトでご覧ください。

優秀賞受賞作品の詳細ページは
https://shokubutsuseikatsu.jp/

「植物生活」企画・運営：kaika Inc.

フローリストのためのガーデンテクニック

植栽した草花と樹木によって庭の印象は大きく変化します。
全国各地のフラワーガーデナーが手がけた個人宅・施設の庭を巡ってその技術を学ぼう。

vol. 7

woodland garden

Kagawa

家族で植物を愛し、花匠と呼ばれる母を助けて自然と共生する「仏生山の森ガーデン」を手掛ける ―― 香川

香川県まんのう町は高松市内から近く緑の多い小高い丘が続くところにある。今月の主人公は「ガーデン ママン・コシェ」の高橋彌生さんとその家族。日比谷公園ガーデニングショーで入賞を6年も続けて受賞するほどの寄植鉢の名手だ。もとは棚田があったところで環境保全を第一に考え、以前から関心があった里山の風景を実現しようと家族で計画。地下水を汲み上げ貯水し排水には万全の備えをし、自然の起伏を利用して敷地内には落葉樹と宿根草を多く植えて季節感いっぱいの景観を構築した。今はおよそ20年経って野ウサギが現れ、野鳥が巣作りをする様子が見られるという。代表である彌生さんは教育者の夫と早くからガーデニングに関心を持ち、敷地内にバラ園やペレニアルガーデンを作り、歴史的環境に造詣の深い長男、陶芸家の次男とともに、英国式の自然風景式庭園と日本の自然景観との融合を目指している。この経験が市内の花と緑と食と農の多様性ガーデニング施設「仏生山の森ガーデン」の工事を受注するきっかけとなる。ここは高松市内の県農業試場跡地でエントランスガーデンから四国の樹木を基本にした植栽園、宿根草とグラス類の花壇、一年中花を見る庭、水草類を集めた水の庭、それに世界のバラとハーブ園を設計施工をした。仏生山ガーデンのオーナーが昔見た懐かしい山野の自然の景色を再現し、ノスタルジックモダンなガーデンを制作し、100年変わらない自然の輪廻を表現する。また、施設はほかに野菜園とコラボするシェフズレストランやBBQガーデンなど総合的なテーマガーデンになっている。

右ページ：ママン・コシェの木立の中にガーデンハウスがある。花に囲まれたメルヘンの世界に誘われるような佇まい。手前に見えるのは、セファランサス'ムーンライトファンタジー'、アンゲロイア、ベロニカ、セロシア、サルビア、パテンス。 1：仏生山ガーデンを遠景で見る。遠くに右から目山・日妻山・実相寺山を望む。 2：芝地の園路と宿根草類のボーダーガーデン。FLOWER&GREEN：サルビア'クレベランディ'、ラムズイヤー、ペニセタム'フェアリーテール'、ガイラルディア、カリオプテリス'サマーソルベット'、ヘリクリサム、ジキタリス'ポルカドットポリー'、パニカム・チョコラータ、ホリホック、バーバスカム、エキナセア、ほか 3：園内にあるウォールガーデン。クリーピングローズマリー、タイム、下草類（メリカキリアタ、エリゲロン、オウゴンノブドウ）などが植っている。 4：ママン・コシェのテラスに置かれた大型の織部釉鉢を使った寄植えには、アメリカハナスオウ'シルバークラウド'、アナベル、ヤマアジサイ、ヒペリカム、ディエルヴィラ'ハニービー'、フイリヤブランの姿が見える。 5：ママン・コシェにて高橋彌生さんを囲んで家族で打ち合わせ中。

Data

ガーデン ママン・コシェ
香川県仲多度郡まんのう町炭所東1223　TEL：0877-79-1505

仏生山の森ガーデン
香川県高松市仏生山町甲884-2　TEL：0877-79-1505

Profile

監修・松田一良　Kazuyoshi Matsuda

（株）ハーベストガーデンシステムズ代表取締役、園芸装飾アドバイザー。専門学校の講師を長く務め屋内外の植栽に通じる。ガーデニングを通じて園芸業界の指導も熱心に行う。

　撮影／宮脇修三

お花屋さんの忙しい！を解決する、
お花屋さん専用IT管理システム

顧客管理ができるお花屋さん専用IT管理システム「フローリストイージーマネージャー」は、注文履歴をデータ化することで、売上分析や顧客への営業強化などができるクラウドソフト。お花屋さんの日々の業務に役立つ便利な機能がいっぱい！

こんなお花屋さんにぴったりです！

- 配達や売掛の顧客が多い
- 請求書の発行作業が長時間かかって大変
- お客様の過去の注文を把握したい
- 常連のお客様の過去のオーダーを覚えていたい
- 配達完了のメールや制作した商品の写真をスムーズにメールで送りたい
- 手書きの納品書や請求書から卒業したい

全部、フローリストイージーマネージャーで解決できます！

1ヵ月無料トライアルもできます。

上記以外も作業の進捗管理や売上の分析、登録した画像が営業ツールとして役立つなどお花屋さんの力になる機能を装備！

パンフレット、使用ガイドをお送りします。

公式サイトのお問い合わせフォームから。
または三谷商事株式会社情報システム事業部まで TEL:03-5949-6226
※お手数ですが、イージーマネージャー事務局につなぐようお申し付けください。

コロナ禍の今だからこそ備えたい、お花屋さんのIT化

フローリストイージーマネージャー オンライン説明会開催

月刊フローリストが監修するお花屋さんのためのクラウドサービス
「フローリストイージーマネージャー」の製品説明会を行います。

オンライン説明会ではIT化にご興味のある花店の皆さまに向けて、イージーマネージャーにはどのような機能があるのか？ 操作性は？イージーマネージャーを導入することでどのような効果をもたらすか？ など、皆さまの知りたい内容にお答えいたします。疑問点や運用にご不安な点がある方は質疑応答を承ります。

開催日時［ 2回開催 ］

11月12日（木） 第1回 スタート16:00〜、第2回 スタート19:00〜［ 1回 約1時間程度 ］

参加費 無料

参加方法 オンライン（ZOOM） お申し込み完了後、URLをお知らせします。

お申込み

ご参加には事前のお申し込みが必要です。
以下のお問い合わせフォームから「セミナー参加希望」と、希望時間をお書きのうえ、お申し込みください。 https://easy-m.jp/about/#contact

※お問い合わせ内容の欄に、参加ご希望の日時をご記入ください。

記入例） セミナー参加希望 11/12 16時〜 参加希望

事務局にてお申し込みを承り次第、メールをお送りさせて頂きます。

※2営業日以内に返信が来ない場合、お手数ですが再度お申込みいただくかお電話でご確認ください。

なお説明会用のURLにつきましては、改めて1週間前までにメールでお送りします。

主催・お問い合わせ フローリスト イージーマネージャー事務局 info@easy-m.jp

誠文堂新光社の趣味・実用・専門など多彩な新刊書

フランス人が愉しむ3つの前菜。

人気シリーズ第5弾。「冷たい前菜」「温かい前菜」「作りおき前菜」の3パートで、上田流の簡単なのにおしゃれでおいしい！60皿を紹介。

上田 淳子 著

■定価本体1,600円＋税　B5変判・128頁
ISBN978-4-416-62036-6

香りの性質・メカニズムから、
その抽出法、調理法、レシピ開発まで

料理に役立つ 香りと食材の組み立て方

香りを料理に生かすにはどうすればよいのか？　香りの専門家が教えてくれる、いろいろな食材との組み合わせ方のヒントとレシピ集。

市村 真納 著、横田 渉 レシピ制作

■定価本体2,400円＋税　B5変判・192頁
ISBN978-4-416-51980-6

表も裏も繊細で美しい
透かし模様のパターンとアイディア

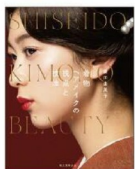
ナンシー・マーチャントのブリオッシュレース

日本で初めてのブリオッシュ編みとレース編みを組み合わせたパターン集。表も裏も模様が楽しめる72の模様と9作品を収録。

ナンシー・マーチャント 著

■定価本体3,400円＋税　B5変判・240頁
ISBN978-4-416-62008-3

SHISEIDO KIMONO BEAUTY

着物ヘアメイクの視点と技法

資生堂のトップヘアメイクアップアーティスト、鎌田由美子。和装を得意とする彼女の視点と技法を用いた、着物のためのヘアメイクを紹介。

鎌田 由美子 著

■定価本体2,200円＋税　B5変判・160頁
ISBN978-4-416-52061-1

花選びの視点とデザインを考える

花生師(はないけし) 岡本典子の花仕事

人気フローリスト・岡本典子の初となる作例集は圧巻の87作品。プロ志望者に向けた作品解説、写真集のような美しいビジュアル。

岡本 典子 著

■定価本体2,500円＋税　B5変判・208頁
ISBN978-4-416-52021-5

がんにかかった愛犬の体調や症状に合わせた
食材の選び方、レシピ、与え方の基本がわかる

がんと生きる 犬ごはんの教科書

愛犬ががんにかかった時に、飼い主さんが知っておきたい、がんとうまく共存するための手づくりごはんの作り方や知識をまとめた一冊。

俵森 朋子 著

■定価本体2,200円＋税　B5変判・144頁
ISBN978-4-416-62044-1

お求めはお近くの書店、ネット書店、またはブックサービス0120-29-9625（9時～18時）まで。

誠文堂新光社
東京都文京区本郷3-3-11
https://www.seibundo-shinkosha.net/
お問合せ　TEL.03-5800-5780
FAX.03-5800-5781

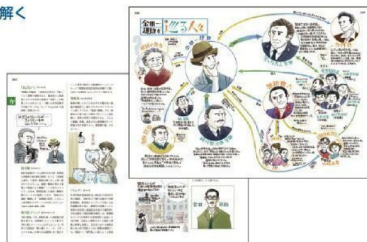
誠文堂新光社の**趣味・実用・専門**など多彩な新刊書

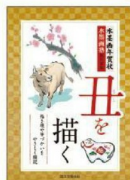
名探偵にまつわる言葉をイラストと豆知識で頭をかきかき読み解く

金田一耕助語辞典

日本で最も有名な探偵のひとり、金田一耕助を紹介する洒脱なイラスト入り辞典。原作小説から映画・ドラマなどの映像作品まで。

木魚庵 文、YOUCHAN 絵

■定価本体1,600円＋税　A5判・208頁
ISBN978-4-416-52002-4

描き順や筆づかいをやさしく解説

水墨画年賀状 丑を描く

2021年は丑年。牛の絵を中心に、年賀状に描くさまざまな作品と描き方を紹介。心のこもった年賀状づくりに最適な一冊。

水墨画塾編集部 編

■定価本体1,300円＋税　B5判・80頁
ISBN978-4-416-62035-9

無敗の最強部隊を殲滅せよ！

自衛隊最強の部隊へ －FTC対抗部隊 編

設立以来、無敗を誇るFTC最強部隊に40連隊が戦いを挑む。当時の陸上自衛隊最強を決める最終決戦！

二見 龍 著

■定価本体1,500円＋税　B6判・184頁
ISBN978-4-416-62054-0

52の「心所」で読み解く仏教心理学入門

Guide to Buddhist Psychology

ブッダが教える 心の仕組み

52の心所を図解で解き明かす「仏教心理学」超入門！
「心の自己管理」の基本がわかる！

アルボムッレ・スマナサーラ 著
いとうみつる イラスト

■定価本体1,800円＋税　B5変判・144頁
ISBN978-4-416-52043-7

土の成り立ちから、診断の進め方、
診断に基づく施肥事例まで

図解でよくわかる 土壌診断のきほん

すぐわかる すごくわかる！

圃場を知るために必要な土の知識や、簡易的な土壌診断の方法。土壌診断の結果をどう活かすか、図解でわかりやすく解説。

一般財団法人 日本土壌協会 監修

■定価本体1,800円＋税　A5判・160頁
ISBN978-4-416-52087-1

お求めはお近くの書店、ネット書店、またはブックサービス0120-29-9625（9時～18時）まで。

誠文堂新光社　東京都文京区本郷3-3-11
https://www.seibundo-shinkosha.net/
お問合せ　TEL.03-5800-5780
FAX.03-5800-5781

2020
12

NEXT ISSUE ┆ 次号予告

内容は変更になる場合があります。

第一特集

クリスマスリース

思いもよらない世の中になり、
人と会う機会が減ってしまった2020年。
せめて花を贈って気持ちを伝えたいと考える人がちょっと増えたように感じます。
クリスマスは特別なイベントだけど、派手に楽しめないなら、
華やかなリースを自宅に飾る、贈り物にすることを
例年以上にお客様におすすめしたいところ。
今年も全国の花屋さんが制作したリースが大集合。
リース制作のヒントとしても使えます。

別冊特別付録 2021年フラワーカレンダー

STAFF WANTED

「フローリスト」では全国、津々浦々の花店を取材します。
都内に限らず、地方でも活躍するカメラマン、ライター、
編集者、グラフィックデザイナー、
スタイリスト、イラストレーターなど、
雑誌制作に携わるフリーランスのスタッフを募集しています。
履歴書、職務経歴書、参考になる作品、過去の仕事などを同封の上、

〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-11
株式会社誠文堂新光社 フローリスト編集部 スタッフ募集係

上記の宛先までご応募ください。
mail:florist@seibundo.comでも受け付けております。
記憶に残る誌面を一緒に作りましょう。
皆様からのご応募をお待ちしています。

※応募書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください。
※フラワーデザイナーの募集ではありません。

フローリスト

Editor in Chief
玉井瑞木

Contributing Editors
久保万紀恵
櫻井純子 [audax]
十川雅子
宮脇灯子
渡部明子

Advertising
渡辺真人

Art Direction
千葉隆道 [MICHI GRAPHIC]

Design
千葉隆道
兼沢晴代

DTP
山田浜之 [双英社]

表紙
制作／花時計
撮影／岡本譲治

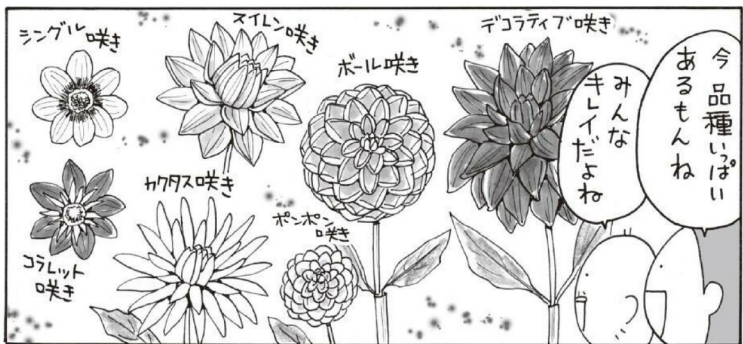
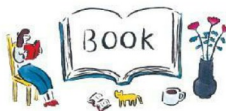
次号のフローリストは2020年11月7日土曜日の発売です。

東京は大田区雪谷大塚で花店を営む、花福こざるさんが花店に並ぶ植物のマメ知識をゆる〜くお届け。
誰かに教えたくなる「そうなんだ！」な情報が満載です。

学名：Dahlia
キク科テンジクボタン属
球根性多年草
花期7〜10月
英名：dahlia　和名：天竺牡丹

こざるさん、今月のつぶやき。

ダリアには厳しい猛暑日がやっと終わりまして涼風が吹いております。涼しいと花が長持ちしますすね。

花福こざるさんの著書『花福日記 お花屋さんの春夏秋冬』『豆腐百珍　百番勝負』さらに新刊『続 豆腐百珍百番勝負』が発売中！（いずれもイーストプレス刊）。
『おもしろ植物図鑑』（小社刊）もよろしくです。ブログ「花福日記」も更新中。http://ameblo.jp/hanafukukozaru/

仕事に役立ちそうなものから
話題作りになりそうなものまで、
気になる新刊本をピックアップ。

朽ちてなお美しい ドライボタニカル入門

生花の状態から飾り、時の移ろいとともに徐々に変化する色合いやフォルムを愛でながら、長きにわたり楽しめるドライボタニカル・ドライフラワー。本書では美しさを保ったまま植物をドライにする方法から、スワッグやリース、モビール、ハーバリウム、押し花、標本など、ドライならではのさまざまな作品と作り方を紹介する。基礎知識や植物図鑑も充実しており、初心者にもおすすめの一冊。

book info　小野木彩香(著)　エクスナレッジ　1,600円+税

たのしい路上園芸観察

路地裏や玄関先、ベランダ、塀の上などで住人たちが思い思いに楽しむ園芸。そこには、行政によって整備された植栽とは違う、自由で植物愛に溢れた光景が広がっている。そんな日常の営みを「路上園芸」と名付け、10年ほど観察・記録してきた著者が、典型的なものや目を引いたものをポイント別に分類し、写真付きで解説。一読すれば何気なく歩いている道がおもしろい散策路になる。

book info　村田あやこ(著)　グラフィック社　1,500円+税

南倉　紫檀槽琵琶
宮内庁正倉院事務所

会期:10月24日(土)〜11月9日(月)
開館時間:9:00〜18:00、
金・土・日曜日・祝日〜20:00
(入館は閉館の60分前まで)
会期中無休
会場:奈良国立博物館 東新館・西新館
(奈良県奈良市登大路町50)
観覧有料、小学生以下無料
(前売日時指定券が必要。
当日券の販売はなし)
TEL:050-5542-8600(ハローダイヤル)
https://www.narahaku.go.jp/

美しいものを作るには、
美しいものに触れていたい。
感性を磨くアート、
見に行きませんか。

第72回正倉院展

正倉院は奈良時代に建立された東大寺の倉庫で、聖武天皇の遺愛品を中心に約9,000件の宝物が現在まで伝えられている。正倉院展はその中から59件が展示される展覧会。今年は、楽器、伎楽面(ぎがくめん)、遊戯具、調度品、染織品、文書などが出陳され、正倉院宝物の主要なジャンルの名品を堪能できる。美術としての魅力を有する品も数多く展示され、撥受けに鳥などを描いた紫檀槽琵琶(したんのそうのびわ)は古代の絵画資料としても注目されている。武器・武具と薬物がまとまって出陳されるのも特徴。薬物は、救済事業に尽力した光明皇后が病人に分け与えるために東大寺に献納したものなど8件が展示される。

映画を見ることは、
違う人生を感じること。
日々の生活に刺激と潤いをくれる
イチオシ映画をご紹介。

[82年生まれ、キム・ジヨン]

data 監督:キム・ドヨン　出演:チョン・ユミ、コン・ユ、キム・ミギョン
原作:チョ・ナムジュ[著]／斎藤真理子[訳]『82年生まれ、キム・ジヨン』(筑摩書房刊)　配給:クロックワークス
10月9日(金)より新宿ピカデリーほか全国順次ロードショー

韓国発、日本でも社会現象となった ベストセラー小説が感涙の映画化

結婚・出産を機に仕事を辞め、育児と家事に追われるジヨン。時折まるで他人が乗り移ったような言動をとるようになるが、その時の記憶はすっぽりと抜け落ちている。そんなジヨンを夫のデヒョンは心配し、精神科医に相談するが……。女性なら誰もが感じたことがあるであろう場面を積み重ね、ジヨンの人生は描かれる。そこに共感も絶望もするが、未来への希望を見出せる作品だ。

[さくら]

data 出演:北村匠海、小松菜奈、吉沢亮、寺島しのぶ、永瀬正敏
原作:西加奈子[著]『さくら』(小学館刊)
監督:矢崎仁司　脚本:朝西真砂　配給:松竹
11月13日(金)より全国順次ロードショー

原作は西加奈子による傑作小説 壊れかけた家族に奇跡が起こる

長谷川家の次男・薫にとってヒーローのような存在だった兄が事故で亡くなった。その死をきっかけにバラバラになった家族をつなぎとめるように、薫は幼い頃の記憶を回想する。直木賞作家・西加奈子が紡ぐ家族の物語に「私の映画史がすべて入っている」と、監督を引き受けたのは矢崎仁司。人間の複雑な感情を映し出すことに長けた矢崎監督が、ひとつの家族を通して、生きることの意味を丁寧に描き出す。

開催中～近日開催の
イベント情報。
花関連のイベントを中心にカルチャー、
アートなど幅広く。

コスモスまつり2020
秋の昭和記念公園の定番となったキバナコスモス'レモンブライト'。「みんなの原っぱ東花畑」に約70万本が植えられ、開花するとレモンカラーが秋空に映える。ほかにもコスモス'あかつき'と'日の丸'を紹介するエリアや1万㎡の丘に広がる花畑もあり、コスモスのさまざまな魅力を楽しめる。入園有料。
開催中～10月25日(日)　9:30～17:00
昭和記念公園(東京都立川市緑町3173)
042-528-1751
https://www.showakinen-koen.jp/

うみなか＊はなまつり2020～もふもふコキア・レッドシーズン
「花の丘」にある2万株のコキアが真っ赤に色づき、コスモスやケイトウ、バラなど、美しい秋の花を堪能できる。「コキアほうきづくり体験」や「秋の収穫祭」などイベントも充実。入園有料。
開催中～11月3日(火・祝)
9:30～17:30(11月～17:00)
海の中道海浜公園
(福岡県福岡市東区大字西戸崎18-25)
092-603-1111
https://uminaka-park.jp/

特別展 淡路ガーデンルネサンス2020 ―日本の花文化の継承と創造―
10年前にスタートした「あわじガーデンルネサンス」は花緑づくりを通して、地域の伝統文化・産業を継承・創造し、一人ひとりがふるさとづくりに参加する持続可能なまちづくりを目指している。今回は同館20年の総括として、「美意識を育む・継承・挑戦」とそれらを踏まえた「美意識の花緑空間」を提案。日本人のデザイン感覚が生み出したユニークな形・色・柄をもつ植物や、武家屋敷や江戸の町で盛んに行われた園芸や庭造り、篠山藩伝来の約250年継承され続けている「お苗菊」など、さまざまなテーマで展示されている。入館有料、高校生以下無料。
開催中～11月8日(日)
10:00～18:00(入館は閉館の30分前まで)
奇跡の星の植物館(兵庫県淡路市夢舞台4)
0799-74-1200
http://www.kisekinohoshi.jp/

原種シクラメンとダイヤモンドリリー展
園芸植物としてよく知られるシクラメンの原種と、花弁がキラキラと輝くことから「ダンヤモンドリリー」と呼ばれるネリネは、同園の秋を彩る人気植物。期間中は原種シクラメン 'ヘデリフォリウム'の群落がみられるほか、原種シクラメンとネリネの鉢植えと切り花の展示、花苗の販売会を開催する。入園有料。
開催中～11月23日(月・祝)
10:00～17:00(16:30受付終了)
六甲高山植物園
(兵庫県神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150)
078-891-1247
https://www.rokkosan.com/hana/

※新型コロナウイルスの影響などで、開催予定のイベントが延期・中止となっている場合があります。おでかけの際は公式サイト等で事前にご確認ください。

月刊フローリスト　求人情報掲載ページ

店舗 | 正社員 | パート

株式会社フラワー中山

生花店の幹部候補、一般スタッフ、パートを募集
祭壇・装花他、アレンジメントを仙台から全国へ送ります

(株)フラワー中山は仙台市青葉区中山に位置し、地域のフラワーショップとして愛され、またグループ会社の(株)花祭壇への葬儀祭壇、葬儀装花の提供等多くの皆様に信頼されております。加えて「ゆうパック」により母の日、お盆、お彼岸、クリスマス等で全国にお花の発送もしております。
またインターネットによるお花の販売にも力を入れ好評をいただいております。
今回、一緒に働いていただける仲間を広く募集いたします。

仕事内容

生花店一般業務　配達　葬儀（祭壇・装花）

勤務地・募集店舗

宮城県仙台市青葉区中山5-6-3　本店勤務

雇用期間・勤務時間・休日

・社　員　正社員（試用3ヶ月）
・パート　1年更新
・勤務時間　09：00～18：00
・休　日　シフト制による週休2日
【備考】幹部候補、一般スタッフ、パートを幅広く募集

給与・福利厚生

社　員　180,000～280,000円（経験、年齢等による）
パート　時給　830円　※社会保険完備、繁忙手当支給

問い合わせ先

TEL：022-303-1187（担当）曳地、庄子
FAX：022-303-1193
http://www.flower-nakayama.co.jp

月刊フローリスト 求人情報ページ

申し込みはWEBから簡単にできます!

プラン内容	Ⓐプラン	Ⓑプラン
料金（税別）	［定価 40,000円］キャンペーン価格 20,000円	［定価 90,000円］キャンペーン価格 50,000円
掲載期間	1ヵ月（1号分）	2ヵ月（2号連続）
写真掲載	なし	2点

※Aプランは有料オプションのご利用で写真掲載が可能です（2点まで）
※有料プランを一度お申し込みいただいた場合、キャンセルはできかねますのでご了承ください

＼即戦力が必要／

そんなときに花業界唯一の
フラワービジネス専門誌、
月刊フローリストなら生花業務経験者を
本誌とオンラインから訴求できます。

月刊フローリスト　で

問い合わせ：フローリスト編集部　☎ 03-5800-3616

FLOWER ARTS RELAY

VOL #34

November 2020

JFTD学園日本フラワーカレッジプレゼンツ。
卒業生がリレー形式で、
テーマに沿う作品を制作します。

Theme

晩秋

Title

heel

FLOWER ARTS RELAY

晩秋の少し寂しさを感じる季節でも楽しく歩みを進めるように靴をイメージした作品を制作。「楽しくなる」という状態を表すため、足を入れる履き口に丸いフォルムのかわいらしい花を使った。ヒール部分は骨組みから作りラインがきれいに出るように工夫、表面を覆うマツカサもグラデーションになるように接着している。

Flower & Green：マツカサ、キク、ワックスフラワー、ユーパトリウム

profile 芝田義和［第16期卒業］

大学卒業後、IT企業に就職。仕事をするなかで実家の生花店の仕事に興味を持つようになる。退職後、JFTD学園へ入学。現在は実家の「フローリストシバタ」（兵庫県三木市）にて勤務。

NEXT → 田中孝征さん［第18期卒業］

田中さんも実家が生花店で親同士に交流があります。田中さんにお願いしたいテーマは「異素材を使って」です。

構成／JFTD学園日本フラワーカレッジ https://www.hanacupid.org

WEBで作品詳細も公開中。https://floristonline.jp

撮影／蔵迫潤也(MIKI STUDIO)

雑誌『フローリスト』+
ウェブサイト『植物生活』が、
あなたのビジネスをデザインします!

わたしたちは、お花屋さん、フラワースクールなど、プロフェッショナルのためのビジネス支援をいたします。こんなときこそ、ウェブ制作やYouTube用の動画制作に取り組んでみませんか?

誠文堂新光社の『フローリスト』+『植物生活』のプロジェクトチームが、あなたの課題解決のお手伝いをさせていただきます。

雑誌『フローリスト』は全国の花店、流通、ブライダル産業、フラワースクール、生産者から関連事業者のみなさんへダイレクトに専門情報を届けています。『植物生活』はインターネットでつながるウェブサイトです。雑誌プラスアルファとして一般にも向けた情報を発信しています。これらの2媒体が組むことにより、花業界における先進的なメディア活動を行なっています。

このようなご要望にもご対応できます。

- お店のロゴマーク、名刺、グッズ、パッケージデザインなどを一新したい。
- フラワーアレンジメントのレッスン、イベントを動画で撮影して配信したい。
- PRパンフレット、冊子、ハウツーのテキスト、作品集などを刊行したい。
- 作品の公募や発表会、インスタグラムなどでのコンテストを開催したい。
- 新事業計画のための個人事業主や中小企業向けの助成金を申請したい。

サンプリング

イベント

動画制作

ブランディング

タイアップ記事

書籍・
カタログ制作

業界専門
情報満載

1984年創刊！全国の花店に
愛されている業界紙

専門特化した
購読者層
×
深掘りした情報

雑誌『フローリスト』

＋

『植物生活』

植物ファン
コミュニティ

プロアマ問わず専門的な
コンテンツを配信するメディア

フローリストからの
コンテンツ提供
×
暮らしにまつわる
自由な視点のコンテンツ

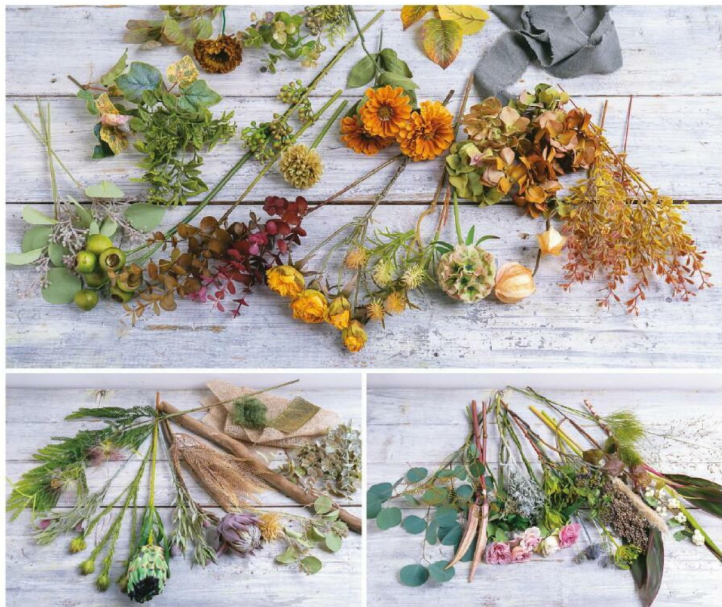
オンラインとオフラインのタッグ！

ご相談は無料です。下記までお気軽にご連絡ください。

お問合せ先
誠文堂新光社『フローリスト』 担当 渡辺　〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-11　https://floristonline.jp
TEL：03-5800-3616　mail：floristonline@seibundo.com

VERT DE GRIS Seasonal Gift Lesson

ヴェール・デ・グリの季節のギフトレッスン

京都の人気花カフェ、「ヴェール・デ・グリ」が
アーティフィシャル、プリザーブド、ドライを使った季節のギフトの作り方を紹介。

Lesson 19 シチュエーションとそれに合う花のギフト

花のギフトを作る際は色やかわいい・アンティークのようなイメージを想像させるキーワードのほか、贈られた相手がどんな部屋に飾るのか、シチュエーションも知った上で制作に臨みたい。今回は、贈る相手は男性か女性か、飾る場所は家かショップか、3つのバラバラのシチュエーションを提案。アーティフィシャルを使った作品が中心となったが、匂いがなくて定期的なケアの必要がないことから、手間をかけられない一人暮らしの人には特におすすめ。ペットを飼っている人にとって生花はNGの場合もあるが、アーティフィシャルは素材を選べば今まで花を避けていた人でも飾れるギフトができる。また、アーティフィシャルのネイティブフラワーは実は種類も豊富で軽量なので扱いやすい。

order.1

[男性の一人暮らしのシンプルな部屋に飾るスワッグ]

タペストリー風のスワッグに。飾らない男性の部屋なので、植物本来のワイルドさを活かすネイティブフラワーを流木のような枝に束ねてデザイン。アーティフィシャルは虫もつかず、匂いもこもらないので、留守がちな人ほどおすすめ。

| Flower & Green |
バンクシア２種、プロテア２種、ユーカリ３種、フィリカ、リューガデンドロン、ネムノキ、ファーンスプレー、流木

order.2

[猫のいる家に飾れる花束]

猫の遊び道具にならないように短くかっちりしたスタイルの花束に。飛び出す花材がなく匂いや粉がとばないような素材を選んでいる。アーティフィシャルのブーケだからこそ使えるテクニックは次のページで紹介。

| Flower & Green |
ジニア２種、バラ、ステルンクーゲル、アジサイ、ホオズキ、マム、ユーカリ6種、センニチコウ、アイビー

order.3

[ナチュラルな雰囲気のカフェでのティータイム]

ヴェールデグリで30〜40代の女性から人気が高い落ち着いたピンクを使った生花の花束。ふんわりしたパンパスグラスなどのグラス類を使って自然な印象なので、ナチュラルなカフェにぴったり。

| Flower & Green |
バラ(アヴニール+、カフェラテ、ラピスペール、クリスタルドレス)、シンフォリカルポス、パンパスグラス、シルバーブルニア、ビバーナム・ティナス、シースターファーン、エリンジウム、リューカデンドロン、コアラファーン、オクラ、ユーカリ、アガパンサス、ソルガム、ダスティーミラー、ドラセナ、パニカム、ほか

アーティフィシャルだから使える技があるハウツー

前ページで紹介したアーティフィシャルの花材のみを使った猫のいる家に飾れる花束を制作。

ジニア、バラ、ステルンクーゲルが主役の秋のこっくりしたグリーン、オレンジ、ブラウンの色合いを使ったクラッチブーケ。猫がいる家を想定しているので、あまり極端に凹凸をつけていないが、プラスチック製の硬い実ものなら猫が遊んでも心配がない。

How To Make

花材は固めずに散らしたいので1本を細かく切り分ける。切り分けた花材、茎が短い花材に太めの#18ワイヤーを沿わせてフローラルテープを巻き下ろしてワイヤリングする。

太めでまっすぐな茎の花材を中心にスプレー咲きの花や面積の大きめの花をスパイラルに組んでいく。きゅっと密な花束にするので上のほうで持って束ねていく。

バスケットに入れて飾ることを想定しているので、メインとなるジニアがきれいに見える角度を見つけたらそこをワンサイドにして組んでいく。フォーカルポイントになるバラはやや飛び立たせて加える。

花束全体にまんべんなくオレンジ色が入るように注意する。バスケットに入れたときに実ものがふちからこぼれるようなイメージで花束に加える。

ブーケを麻紐で結ぶ。アーティフィシャルの茎はきれいに見える長さでカットし、1でつけたワイヤーは上に巻くリボンに隠れるくらいまでカットする。

持ち手をしっかり固定するのと、リボンを巻きやすくするためにフローラルテープを巻き下ろす。縛ったことで花がギュッとするので、あとで花部分は広げて調整する。

ホットグルーをつけて、アーティフィシャルの茎を差し込んで接着する。こうすると、ワイヤーの足がわからない自然な花束に見える。上の花とバランスが取れるくらいの量を差し込めばOK。

リボンの端にホットグルーをつけて、6で巻き下ろしたフローラルテープを隠すように巻いていく。さらに別のリボンで蝶結びすれば、完成。蝶結びの位置はブーケの前を示している。

Profile　古川さやか　Sayaka Furukawa

石川県出身。ディスプレー会社に勤めていたときに生花に触れて、花の仕事をしたいと衝撃を受ける。生花からドライ、プリザーブド、アーティフィシャルまで組み合わせたかわいい作品は人気を集め、2010年には店舗をオープン。現在は京都、大阪の4店舗で花のある空間を提案している。

Shop data　VERT DE GRIS　[ヴェール・デ・グリ]

京都府木津川市市坂幣羅坂44-2 VERT DE GRIS LABO
TEL&FAX:0774-71-3515
ヴェールデグリ　@vertdegris0924
mail:info.gris@vertdegris.jp　http://vertdegris.jp

 撮影／タケダトオル

今月のバラ

東京・世田谷花きのバラ担当の郷古 渉さんが
毎月魅力的な品種をセレクト。
開いていくる姿や使用例を通して、
あらためてバラの魅力を伝えます。

Rose of this month

| November 2020 | vol.19 |

第19回

マナナ！

いろいろな花形のバラがあるが、やはりバラと耳にしたときに想起するのは高芯剣弁の花形。ビタミンカラーの'マナナ！'は飾っているだけで、元気をもらえる品種。蕾から高芯剣弁に開いた姿は、花持ちがとてもよく、秋の季節にはぴったりのバラだ。

文／郷古 渉（株式会社世田谷花き）

市場到着時

市場到着から4日後

今月の生産地　群馬県利根郡昭和村 ◎ 新木バラ園
［ローズコレクション］

群馬県北部にある昭和村は標高が高く、夏は冷涼な気候。その地で土耕栽培にこだわっている生産グループが「ローズコレクション」。春から秋にかけて出荷し、気温の下がる冬にはしっかり休みを取り、出荷に備える。新木さんはそのメンバーの一人。じっくりと作り込まれたバラはボリュームがあり、発色と日持ちもよい。何より、作り手の丁寧な思いが感じられる。

今月のバラをどう使う？

かわいらしいビタミンカラーのバラはウェディングブーケにもぴったり。爽やかな高原でのカジュアルウェディングをイメージして束ねた。丸いフォルムのアスターとの合わせることで、バラらしい美しい花形がより際立ち、可憐な表情が引出される。

Flower & Green

バラ'マナナ！'、ジニア、アスター、ワックスフラワー、シモツケ、グミ

Shop data

marmelo
［マルメロ］

東京都世田谷区代沢2-36-30
廣井ビル1F
TEL:03-5787-8963
営業時間：11:00〜19:00
定休日：月・火曜日
@marmelo.flower
mail:flower.marmelo@gmail.com
https://www.marmelo-flower.com/

制作　小野寺千絵

花材提供／新木バラ園　撮影／徳田 悟

トップフラワーデザイナーが教える

季節の花を魅せるテクニック

季節を表現する和の言葉を選び、そのイメージを表す手法を伝える。

制作 新井光史

vol.19

冬のはじまりを表現する

立冬のイメージを表現したアレンジメント

二十四節気の「立冬（りっとう）」は11月7日頃から2週間を指します。空気は冷たくなり木の葉が落ち、初雪の知らせも聞こえる時期です。立冬から私が連想する色はグレー。今回はグレイッシュカラーのアレンジメントでこの季節を表現しました。くすんだ色みのピンクや紫のバラをメインに、合わせる葉物や実ものはシルバーがかったものを選択。ガラスの器に入れた枯れ葉には、一部にパウダー状のパラフィンワックスを振りかけました。ガラスを通すことで霜が降りた葉（写真）のイメージを強調することができます。涼感の演出とはまた違ったガラスの器の使い方の提案です。

Flower&Green

クレマチス(蔓と葉)、バラ(エキゾチック エクレール、アヴニール+、テナチュール、シュナーベル、オーシャンソング、ワンダーウォール)、セッカヤナギ、サルスベリ(実)、アジサイ'アルプスグリーン'、ユーカリ・テトラゴナ、アストランチア'スターオブビリオン'、ビバーナム・ティナス、シンフォリカルポス、シルバーブルニア、シマススキ(ドライ)、グミ、フジバカマ、銀葉グミ、エリンジウム、クリやブドウなどの枯れ葉(以上、2点写真外)

How to Make

1

直径25×高さ25cmのガラス製の花器に枯れ葉を入れる。数枚の葉の表面には溶かしたパラフィンワックスを塗って乾かし、さらにスプレーのりでパウダー状のパラフィンワックスを接着し、側面に入れる。

2

鉢皿に高さ約13cmのフローラルフォームを固定し、ワイヤーをかませて1の上にセットする。セッカヤナギを挿してアレンジメントの高さと形を決める。180度展開・複数焦点で構成し、中央から放射状に広がる形を目指す。

3

セッカヤナギは茎が細くフォームのダメージを軽減できるうえ、枝の表情がおもしろいことから選択。銀葉グミを中央から放射状に広がるように挿す。バランスをとるために背面にも入れる。線の細い材料で高さとボリュームを出し、アレンジメントのシルエットを決める。

4

フジバカマを中央部分に挿す。銀葉グミよりは少し低い位置に。これで背の高い材料はすべて入った。

5

シンフォリカルポス、シルバーブルニア、エリンジウムなど茎や枝が太くかたいものを4より少し低い場所に配置。枝分かれをしてボリュームのあるエリンジウムはスペースを埋めるのに役立つので小分けにはせず、この段階で入れる。

6
背景となる花材がすべて入った状態。ここから、フォーカルエリアとなる部分を空けて、その周囲にバラを含めた花材を入れていく。

7
ユーカリ・テトラゴナのような茎が太くまっすぐなものは場所を選ぶので先に挿し、その間にバラを入れるようにするとよい。

8
アストランチアやビバーナム・ティナスもこの段階から入れる。中程度の高さに花材を入れたら、バランスを見ながら両サイドを広げていく。

9
花材は基本的にミックスで挿すが、バラは一部ゆるくグルーピングしてもよい。色をつなげ安定感を与える役割のアジサイは、根元に近い場所に配置する。

10
グミやサルスベリの実、ビバーナム・ティナスもこの段階から入れる。全体が扇形になったら、バラをメインにしてフォーカルエリアを埋める。

11
枝が短く、実のついた部分がカーブしているユーカリ・テトラゴナは、その形を生かしてアレンジの底辺となるようフォームの側面に挿す。茎の短いシンフォリカルポスなども同様に。

12
クレマチスを下に流れるように入れる。長いものはフォームの奥に挿し、後ろからアレンジメントの上を通して正面をなめるように垂らし、動きと面白みを出す。

13
シマススキは#22ワイヤーで数本ずつまとめ、花が少ない場所に入れる。ドライになった花材は直接フォームに挿すと湿って腐敗しやすいため、ワイヤリングをして使用。完成。

サザンカ咲く季節を赤バラで見せる花束

vol.19
冬のはじまりを表現する

七十二候の「山茶始開（つばきはじめてひらく）」は立冬の初候で、11月初旬を表す言葉。山茶は「ツバキ」と読むが、実際はこの時期に開花するツバキ科のサザンカのこと。冬枯れた灰色の景色に彩りをもたらすこの花のイメージを、サザンカに似た形のバラ2種類とツバキの葉を使って表現した。

Flower & Green

バラ（AD、レッドラナンキュラ、エキゾチックエクレール）、ツバキ（葉）

上／葉の間から見え隠れするサザンカの花の様子を花束に。　右／バラはサザンカに咲き方の似た一重と八重の品種をセレクト。グリーンのバラは、サザンカの花が落ちたあとの実をイメージして少量を入れた。矯めがきくツバキの枝は表情を出せる花材で、洋花にも合う。濃い緑のツバキの葉をクッショングリーンにし、バラの赤い色をビジュアルフォーカルポイントにして束ねた。

秋の名残りをまとわせた花束

木々の色づきが進み、葉が落ちる前のくすんだボルドー色の風景をイメージ。P.121のアレンジメントから紫系のバラのみをピックアップ。シルバーカラーの花材の代わりに、ボルドー色の染めたキイチゴ'ベビーハンズ'やシキミアで色を足した。コンパクトに束ねて、油絵のような印象を演出。キイチゴは面が手前を向くように入れ、色を効果的に表現している。

Flower & Green

シキミア、バラ(エクゾチックエクレール、オーシャンソング、アヴニール+)、キイチゴ'ベビーハンズ'(染め)、エリンジウム'ブルーグリッター'、アジサイ'アルプスグリーン'、フジバカマ、アストランチア'ローマ'、シュウメイギク、ビバーナム・ティナス、サルスベリ(実)

[発展:花材を足し引きして印象を変える]

ツバキの葉をイメージしたモダンアレンジ

P.124の自然的なイメージの花束に対し、ツバキの葉とバラを造形的にデザイン。ツバキの葉と似た形の器を選び、葉は虫ピンでフローラルフォームの上にうろこ状に留めている。器の丸い部分に赤いバラをマスで配置し、密な部分とツバキの葉のラインのコントラストで印象的に仕上げた。

Flower & Green

ツバキ(葉)、バラ(ファンファーレ、AD、レッドラナンキュラ)、ベニアオイ、シキミア、ビバーナム・コンパクタ

profile
新井光史 Koji Arai

第一園芸トップデザイナー。2014年、花いけバトルSPIN OFFシリーズ「IFEX特別編」WINNER、世界らん展日本大賞2016ステージにてデモンストレーション、2016年花いけバトルREAL第四戦WINNER。2018年3月作品集『the Eternal Flower』(Stichting Kunstboek bvba)を刊行。https://www.daiichi-engei.jp

WEEKEND FLOWER

花と素敵な週末を。

ウィークエンドに飾る花でふだんの暮らしが豊かに。旬の花を楽しむことは、心がワクワクする素敵なひとときです。

week / 1

キク（マム）

11月6日は「いいマムの日」

ダリアと見まごうほどのゴージャスなデコラ咲き、愛らしいポンポン咲き、粋な古典菊もリバイバルして、晩秋は和洋折衷の多彩なキクを楽しめる季節。オレンジ系や赤茶系、複色などこっくりした色合いも多く、秋らしさを満喫できます。水道水で十分日持ちしますが、切り花栄養剤の使用で鮮やかに大きく咲き、ひと月近く楽しめます。

week / 2

ネリネ

きらめく秋のダイヤモンド

南アフリカ原産で、花弁がキラキラと輝くことから「ダイヤモンドリリー」と称される品種群もあるネリネ。日本でも多くの育種家が新品種を育成。晩秋に咲く小輪のクリスパタイプも注目されています。水替え頻度は少なくて大丈夫ですが、水に浸かっている茎の表面のぬめりは洗い流します。涼しい場所に飾るとよいでしょう。

Weekend Flower

花持ちアドバイスや花にまつわる詳細は、フローリストオンラインで紹介中。店舗で使えて便利な「フラワーレシピ」がダウンロードできます。 https://floristonline.jp

晩秋のテーブルを彩る芳醇なオータムカラーと
冬のはじまりの澄んだ空気のようなピュアカラー

week / 4

カスミソウ

初雪のように、甘くふわっと

英名は"ベイビーズブレス"。清らかで可憐な花姿は若い女性にも人気で、ブライダルシーンでも活躍。昨今の品種改良で日持ち性が向上し、独特のニオイもやわらぎました。染めカスミソウの需要も増え、ドライフラワー花材にも。白さに輝きのある鮮度のよいものを選び、咲き終わった黒い花は早めに摘み取るとよいでしょう。

week / 3

バラ

二人の想い出にオータムローズ

晩秋の国産バラは、ボリューム、花色、香りともにすばらしく最良の品質。新鮮なバラはトゲが鋭く、花弁は発色よくハリがあり、葉色が濃く触ると冷たく感じます。バラは開花や香るためにエネルギーを使うので、必ず切り花栄養剤を使いましょう。11月22日は「いい夫婦の日」。素敵な名前のバラを見つけて贈るのもロマンチックですね。

 協力／薄木健友（フルーロン花佳）、宍戸 純（株式会社大田花き）、藤井 大（株式会社京橋花き） プロデュース・花／小川典子（一般社団法人花の国日本協議会） 撮影／三浦希衣子

Vase's Resume

ヴェイスズレジュメ

花器専門店のオーナーが語る器たちの履歴書

#23

November 2020

いつか行ってみたい街で作られた器

細い口をした華奢なガラス花器にそっと花を生ける。

photo/text

王寺彰人［Akito Odera］

インテリアショップやドライフラワー専門店勤務を経て、福岡にて花瓶と植木鉢がメインの店「Blumo」を運営。@blumo_

去年の今頃は買い付けに行っていたな…なんてまだまだ行けそうにないヨーロッパへの思いを馳せながら、今月から本編に戻ります！ドイツで買い付けをしている際に出会った、美しいガラスの花器がある。華奢で薄く、極端に細い首やユニークな装飾が個性的。加えて、スモーキーな色合いがとても品のあるそれらの花器にすぐに目を奪われた。販売していたドイツ人に尋ねると、これらの花器は「ラウシャ」という街で作られているらしい。その後調べてみると、このラウシャという街はガラス産業が盛んな街で、工房も数多くあるそうだ。クリスマスツリーを彩るオーナメントを製作していることでも有名で、ガラスオーナメント発祥の地とも言われている。なるほど、オーナメントをおもに製作していたから花器の装飾も細やかで、繊細なつくりだったのかと納得がいった。僕が手に入れた1960〜70年代のラウシャの花器は、当時流行っていた近未来的で、流線的なデザインの物などもあり、伝統工芸とモダンテイストの掛け合いも楽しむことができる。口が細く、ガラスの厚みもとても薄いため、あまり頭が重たくない軽めのお花を一輪生けるのがよさそうだ。首が長いシルエットの物が多いので、花を背が高いまま茎の曲線を活かした生け方ができるのもラウシャの花器の魅力だ。いつか行ってみたい街リストに、ラウシャが追加されたのは言うまでもない。

花屋さんのためのショップデザイン・アイデア
2020 NOV. Vol.37 No.439
第37巻第11号 通巻439号
ISSN 0289-7245
2020年10月8日発行・発売(毎月8日発行・発売)
発行人／小川雄一 編集人／小菅山智子 編集長／玉井瑞木
フローリスト編集部／TEL(03)5800-3616
発行 誠文堂新光社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-11